

CZ-473-019

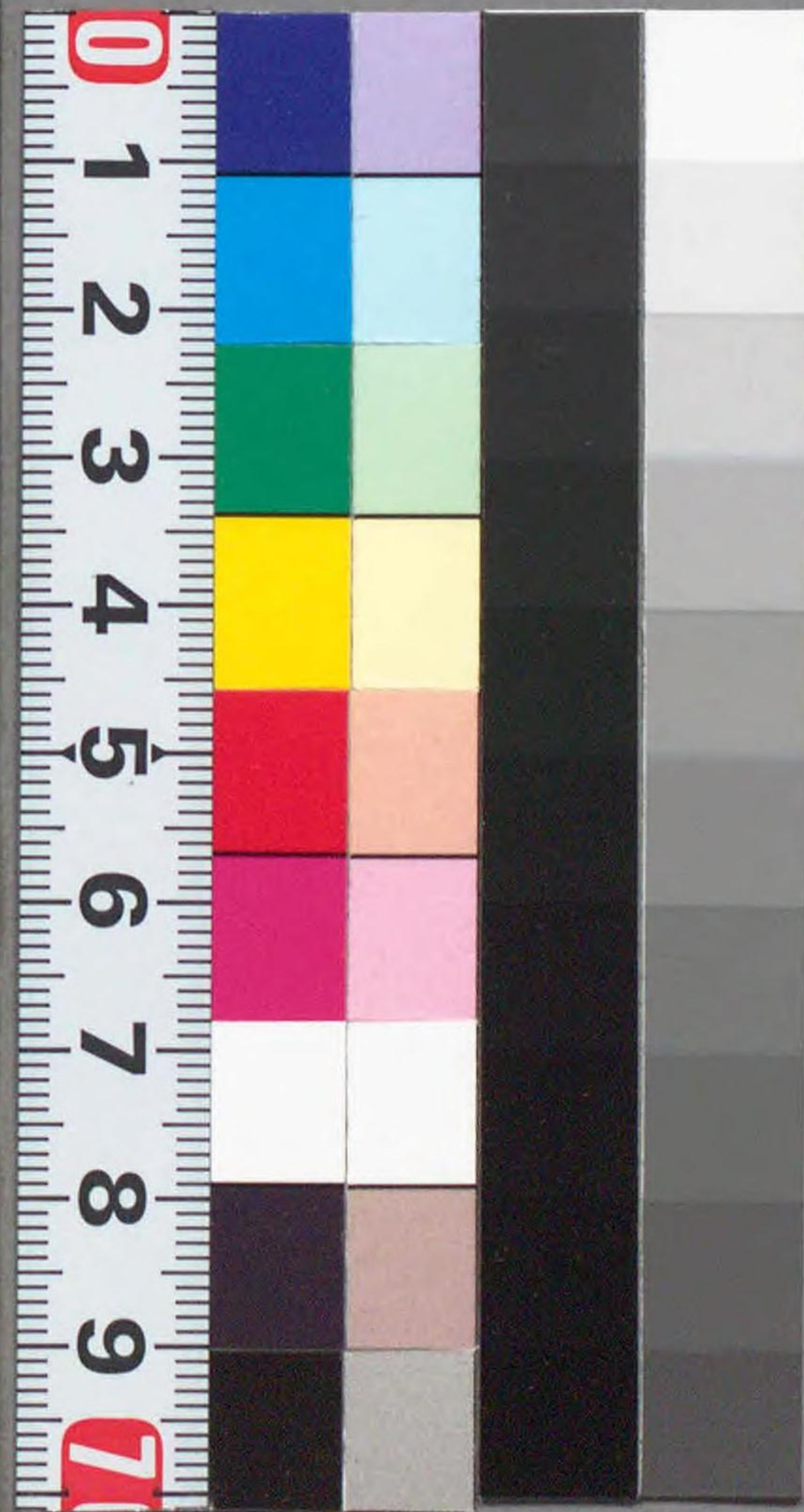


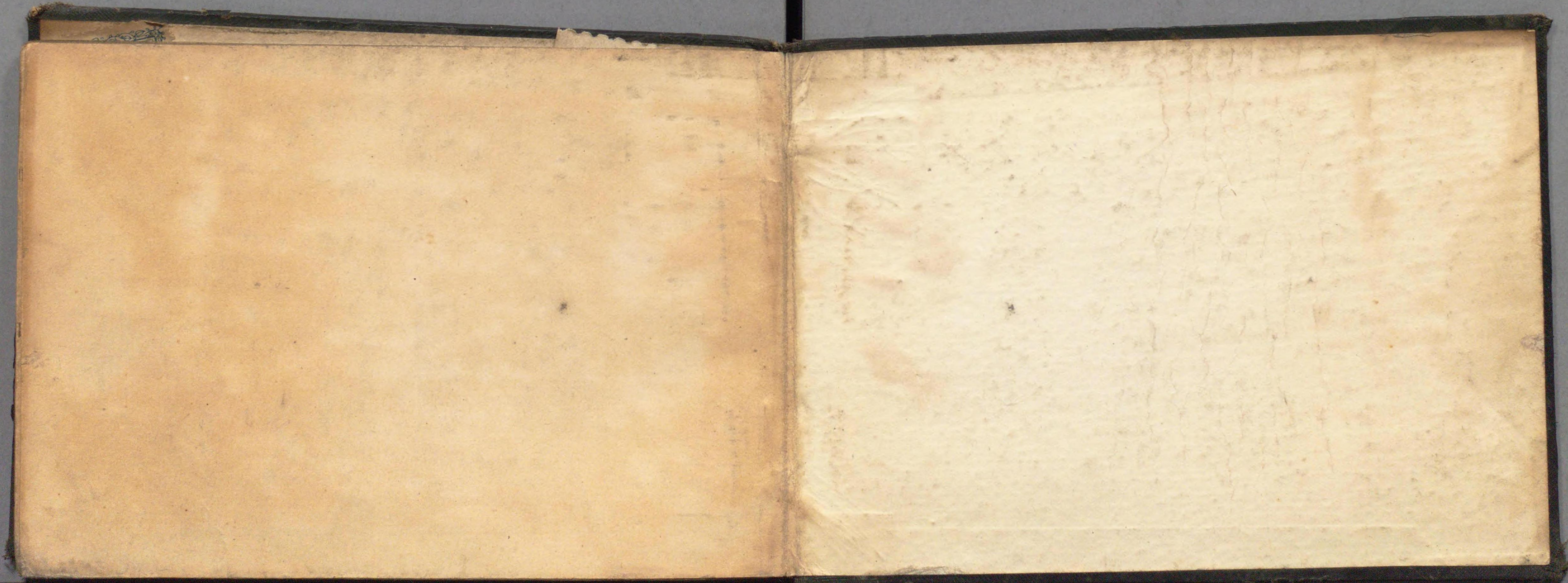
1200901599419

國有鐵道
旅客荷物運送規則

396

23





道鐵有國

396
23

則規送運物荷及客旅

行發會陽朝內局刷印

396-23



此程官報に發表せられた國有鐵道旅客及荷物運送規則は、大正十年一月十一日より實施せらるべきもので、鐵道省で長く實行されたのを、改善擴充し總合したものである。同省に就き聞く處によれば「這次の改正は、恐らく國有鐵道創始以來の大整理で、將來の旅客運輸上に一生面を開くことが出來様と思ふのである。大體旅客や手小荷物の運送に關する規程類は、各種の事項毎に單獨に規定されて居たから、彼と是との關係が離れ々々になつたり、又其發表の形式なども、告示あり、達あり、注意、伺定或は通牒等と色々に別れて、頗る統一を缺ける嫌があつたのみならず、實務の取扱上にも、従事員の研究上にも不便が尠くなかつたのである。況んや一般公衆が鐵道を利用する上に、其の施設の概要に通ずるといふことは餘程六かしかつたので、鐵道當局も亦頗る此點を遺憾として居つたのである。そこで這回の改正には、先づ規程公布の形式を一定し、運賃料金に關する事項及其他の運送條件は總て之を告示として廣く發表することにし、此規則に於て鐵道は如何なる條件で、旅客手小荷物を運送するか、一般公衆は如何に鐵道を利用し得べきか等を詳細に規定したので、鐵道内部に於ける執務上の利便を増せるは勿論、世人も亦容易に鐵道智識に通ずることが出來る様になつて、交通發達に資する處尠くあるまいと思ふ。更に各種の規程の内容に付ても、近來社會狀態の著しき變化に伴うて、運輸上の施設も亦時勢に順應する丈の改正を要するものが多々あるので、此等も亦此の際

9 11 29

C2
493
019

適宜改正を加へたが、其結果大體に於て旅客公衆の利便を増加すると同時に、時代の要求たる公正の觀念に基ける運輸の衡平を期し得たる積である」とのことで、以て此規則發布の精神を知ることが出来る。即ち此規則は三編十三章二十八節二百十條に亙り、主として鐵道使用語の定義、切符の通用期間延長、二十五哩未満の短距離に於ける途中下車及小兒回数券の新設、國有鐵道及私設鐵道併乘の際の賃金算法の綏大、學生及教員割引券の期間及距離の制限撤廢、乗車券紛失の際の處置、無賃輸送手荷物の斤量増加、運輸貨物容積及斤量の制限増大、貸切列車、遺骨死屍の運搬、新聞雜誌等の定期運送、貴重品危険品の例示、小手荷物の保管、運送見合及携帶品一時預等に關する詳細な規程を網羅したもので、國民に必須缺く可らざるものたるや云ふまでもない。然るに官報の購讀者には限があつて、此規則を聞知せざる向も多かるべきかと察せらる、又官報の儘では携帶にも不便である。本會は常に此間に於ける至利至便の方法を工夫し、世上に貢獻せんとするものであるが。今回亦正確なる記事、鮮明なる印刷、破格なる廉價の本會三大特色を發揮し、輕便な菊版半截ポケット用の本書に編成し、發行することにしたのである。

大正九年十一月

朝陽會長 池田敬八

國有鐵道旅客及荷物運送規則

目次

第一編 總則	一頁
第二編 旅客ニ關スル規定	一
第一章 個人運送	一
第一節 乗車券	一
第二節 旅客運賃	三
第一款 通則	三
第二款 普通旅客運賃	五
第三款 特定旅客運賃	六
第四款 定期乗車券運賃	七
第五款 回数乗車券運賃	一
第六款 特種割引旅客運賃	一三
第三節 急行料金	一六
第四節 寢臺料金	一八
第二章 團體運送	一八
第三章 貸切運送	二〇
第一節 列車及汽船	二〇
第二節 客車及船室	二一
第四章 追徴及拂戻	二三
第一節 無札	二三
第二節 乗車券紛失	二四
第三節 等級變更	二五
第四節 乗越、方向變更及徑路變更	二六

目次

二

第五節 運賃概算拂……………二七

第六節 旅行見合……………二七

第七節 列車又ハ汽船運行不能及遲延……………二九

第五章 乘車券引換證……………三二

第六章 入場券……………三三

第一節 普通入場券……………三三

第二節 定期入場券……………三四

第三編 手荷物、小荷物及旅客附隨小荷物

二關スル規定……………三五

第一章 通則……………三五

第二章 手荷物運送……………三五

第三章 小荷物運送……………三七

第一節 通則……………三七

第二節 通常小荷物運賃……………四一

第三節 易損品、嵩高品運賃……………四一

第四節 新聞紙、雜誌運賃……………四三

第五節 車輛類運賃……………四三

第六節 死體、遺骨運賃……………四三

第七節 貴重品運賃……………四四

第八節 小動物運賃……………四六

第九節 牛乳其ノ他ノ食料品運賃……………四六

第四章 旅客附隨小荷物運送……………四六

第五章 手荷物及小荷物ノ配達……………四八

第六章 手荷物、小荷物及旅客附隨小荷物ノ保管……………四九

第七章 追徴及拂戻……………五〇

第一節 品種相違、異種品混入及斤量超過……………五〇

第二節 無貨運送斤量相違……………五〇

第三節 運送見合、中止、返送及轉送……………五一

第四節 列車又ハ汽船運行不能及遲延……………五二

第八章 旅客攜帶品一時預リ……………五三

目次

三

國有鐵道旅客及荷物運送規則

第一編 總則

第一條 旅客、荷物ノ運送ニ付テハ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外本規則ニ依リ取扱ヲ爲ス

第二條 旅客、荷物ノ運賃、料金ヲ計算スル場合ニ於ケル哩未滿ハ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外之ヲ一哩ニ切上ク

第三條 旅客、荷物ノ運賃、料金ヲ割引スル場合ニ於テ計算上生シタル錢未滿ノ端數ハ之ヲ切捨ツ

前項ノ規定ハ運賃、料金ノ追徴又ハ拂戻ヲ爲ストキ及小兒ニ對スル旅客運賃、急行料金ノ計算ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第四條 本規則ニ於テ小兒トハ四年以上十二年未滿ノ者ヲ、大人トハ十二年以上ノ者ヲ謂フ

驛トハ停車場、營業所ヲ謂フ

荷物トハ手荷物、小荷物、旅客附隨小荷物ヲ謂フ

列車トハ蒸汽列車、電氣列車、電車、汽動車ヲ謂フ

途中下車トハ途中下車、途中下車船ヲ謂フ

哩トハ鐵道營業哩、航路營業哩ヲ謂フ

乘車券トハ乘車券、乘船券、乘車船券ヲ謂フ

第二編 旅客ニ關スル規定

第一章 個人運送

第一節 乘車券

第五條 乘車券ノ通用期間ハ左ノ如シ

一 片道乘車券 百哩迄 二日
以上百哩迄ヲ増ス毎ニ 一日

二 往復乘車券 片道乘車券通用期間ノ二倍

第一編 第二編 第一章

第二編第一章

二

三 週遊乗車券 〔延長百哩迄〕 以上延長百哩迄ヲ増ス毎ニ 一日
四 割引其ノ他ノ 〔別段ノ定アル場合ヲ除クノ外前各號ニ準ス〕 特種乗車券

第二十六條ノ特定區間ニ對スル乗車券ノ通用期間ハ近距離線經由ノ哩程ニ依リ之ヲ計算ス

第六條 乗車券ノ通用期間ハ其ノ使用開始期日ヲ定メタルモノヲ除クノ外乗車券發行當日ヨリ起算シ該發行ノ當日ハ之ヲ一日トシテ計算ス

第七條 乗車券ノ通用期間内ニ乗車船シタル者ノ所持スル乗車券ハ乗車船中ニ該期間ヲ經過スル場合ト雖其ノ繼續乗車船中ハ之ヲ有效ト看做ス

第八條 旅客ハ旅行開始ノ際乗車券ニ改缺ヲ受クヘキモノトス

旅客ハ其ノ旅行ヲ終リタル場合ニ於テハ係員ニ乗車券ヲ交付スヘキモノトス乗車券ノ效力ヲ失ヒタル場合亦同シ

定期乗車券及回数乗車券ノ取扱方ハ第三十五條及第四十八條ノ定ムル所ニ依ル

第九條 旅客ハ左ノ各號ニ依リ任意ノ驛ニ於テ途中下車ヲ爲シ他ノ列車又ハ汽船ニ乘繼クコトヲ得ルモノトス但シ別段ノ定アル割引其ノ他ノ特種乗車券ニ依リ乗車船ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス

片道	五十哩未滿	一回
同	五十哩以上三百哩未滿	二回
同	三百哩以上七百哩未滿	三回
同	七百哩以上千二百哩未滿	四回
同	千二百哩以上	五回

前項ノ規定ハ航路ノミニ由ル旅客ニ對シテハ之ヲ適用セス、鐵道ト航路ト連絡ノ場合ニ於テハ鐵道ノミニノ哩程ニ依リ途中下車回数ヲ定ム

第二十六條ノ特定區間ニ於テハ近距離線經由ノ哩程ニ依リ途中下車回数ヲ定ム

旅客カ途中下車ヲ爲シ得ル回数ヲ超エ其ノ他途中下車ヲ爲ス能ハサル場合ニ於テ途中任意ニ下車又ハ下船シタルトキハ其ノ乗車券ハ前途之ヲ無効トス

第十條 旅客カ途中下車ヲ爲シタルトキハ乗車券ニ係員ノ證明ヲ受ケ乘繼ノ際ハ更ニ之カ検査ヲ受クヘキモノトス

前項ノ規定ハ途中下車ニ付テ別段ノ定アル特種乗車券ニ對シ之ヲ適用セス

第十一條 乗車券面區間ノ途中驛ヨリ旅行ヲ開始スル者ハ券面發驛ヨリ旅行開始驛迄ノ不乘區間ニ對シ乗車船ヲ請求スルコトヲ得サルモノトス途中下車ヲ爲シタル者前途ノ驛ヨリ乘繼ヲ爲ス場合亦同シ

第二節 旅客運賃

第一款 通則

第十二條 旅客運賃ノ等級ハ左ノ如シ

- 三等
- 二等
- 一等

第十三條 鐵道ノ旅客運賃計算ノ場合ニ於ケル鐵道哩程ハ鐵道省所管線路ノ連續スル限り之ヲ通算ス但シ旅客カ環狀線ヲ四分ノ三(哩未滿ハ一哩ニ切上ク)以上迂回乗車スル場合ニ於テハ其ノ四分ノ三ヲ超過スル部

第二編第一章

三

分ハ連續セス他ハ連續セルモノト看做ス

環狀線ノ一部カ他ノ環狀線ノ一部トナリ二箇以上連續セル場合ニ於テ旅客カ其ノ外廓ノ一部ト共通部分トヲ通シ各箇ノ環狀線ニ對シ四分ノ三以上ニ互リ迂回乗車スルトキハ共通部分ヲ大ナルモノニ屬セシメ其大ナル環狀線ニ直接連續セルモノハ環狀線ニ非サルモノト看做ス
環狀線ノ一部カ他ノ環狀線ノ一部トナリ二箇以上連續セル環狀線ノ外廓ヲ旅客カ各箇ニ付四分ノ三以上ニ互リ迂回乗車スルトキハ其ノ外廓ヲ以テ一箇ノ環狀線ト看做ス

第十四條 鐵道省所管ノ航路、地方鐵道又ハ軌道ヲ介シテ旅客カ前後ノ省所管線路ヲ乗車スルトキハ前後ノ線路ヲ連續セルモノト看做ス但シ第十三條第一項ノ但書ハ之ヲ適用セス

第十五條 鐵道線路不通トナリタル場合ト雖鐵道省ニ於テ之ニ對シ連絡ノ施設ヲ爲シタルトキハ線路ノ開通セルモノト看做ス

第十六條 旅客カ發著區間ノ全部又ハ一部ヲ往復乗車スル場合ニ於ケル鐵道ノ旅客運賃ハ其ノ乗車哩程ヲ復乘開始驛ニ於テ打切り各別ニ之ヲ計算ス

第十七條 旅客運賃ノ割引ヲ爲ス場合ニ於テハ普通旅客運賃又ハ第二十六條ノ特定旅客運賃ヨリ割引額ヲ控除ス

鐵道ト航路ト連絡旅客ノ運賃ヲ割引スルトキハ其ノ合算額ヨリ割引額ヲ控除ス
往復又ハ迴遊旅客ノ運賃ヲ割引スルトキハ片道又ハ一乘車船區間ノ運賃ヨリ割引額ヲ控除ス

第十八條 旅客運賃ノ割引ヲ受ケタル者ハ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外下級ノ乗車券ヲ以テ上級ノ車船室ニ乘換ヲ請求スルコトヲ得サルモノトス

第十九條 旅客運賃ノ割引ヲ受ケタル往復乗車券使用者ハ第一百一條ニ依ル方向變更ノ取扱ヲ請求スルコトヲ得サルモノトス

第二十條 小兒ノ運賃ハ割引ノ有無ニ拘ラス大人運賃ノ半額トス

第二款 普通旅客運賃

第二十一條 鐵道ノ三等普通旅客運賃率ハ左ノ如シ

五十哩以下ノ哩程	每一哩	二錢五厘
五十哩ヲ超ユル哩程	同	二錢一厘
百哩ヲ超ユル哩程	同	一錢七厘
二百哩ヲ超ユル哩程	同	一錢四厘
三百哩ヲ超ユル哩程	同	一錢二厘
四百哩ヲ超ユル哩程	同	一錢一厘
五百哩程ヲ超ユル哩程	同	一錢

第二十二條 鐵道ノ三等普通旅客運賃ハ旅客ノ發著區間哩程ヲ賃率ノ異ナル哩程毎ニ區分シ之ヲ各所定ノ賃率ニ乘シ合算シタルモノトス但シ二哩未滿乘車ノ場合ニ於ケル運賃ハ二哩分トス

第二十三條 前條ノ場合ニ於テ算定額ニ厘位ヲ生シタルトキハ之ヲ錢位ニ切上ク

第二十四條 鐵道ノ二等普通旅客運賃ハ三等普通旅客運賃ノ二倍、其ノ一等普通旅客運賃ハ三等普通旅客運賃ノ三倍トス

第二十五條 航路ノ普通旅客運賃ハ左ノ如シ

青森函館間	三等	一圓五十錢
	二等	三圓
	一等	四圓五十錢

第二編第一章

六

海舞鶴宮津間	三	四十五	錢
宮津文珠間	二	九十	錢
宮津岩瀧間	三	十五	錢
宮津須津間	同	十五	錢
文珠岩瀧間	同	十五	錢
文珠須津間	同	十五	錢
岩瀧須津間	同	十五	錢
宇野高松間	三	四	錢
宮島嚴島町間	二	八	錢
下關門司間	三	九	錢
下關釜山間	同	十	錢
前項ノ運賃ニハ食費ヲ含マス	一	十	錢
同	二	七	錢
同	三	四	錢
同	一	十	圓六十五
同	二	七	圓
同	三	四	圓

第三款 特定旅客運賃

第二十六條 左ノ區間ニ於ケル鐵道ノ旅客運賃ハ括弧内ノ線路ヲ經由スル場合ト雖東北本線經由ノ哩程ニ依リ之ヲ計算ス

- 一 福島及同驛以南ノ各驛ト青森及北海道線各驛相互間(奥羽本線經由)
 - 二 池袋及同驛以西ノ各驛ト岩沼及同驛以北ノ各驛相互間(池袋日暮里間及常磐線經由)
 - 三 日暮里、鶯谷、上野驛ト岩沼及同驛以北ノ各驛相互間(常磐線經由)
- 第二十七條 東京櫻木町間、品川上野間、池袋赤羽間及東京吉祥寺間ニ於ケル鐵道ノ三等旅客運賃ハ左ノ如シ

第二十八條 前條ノ特定運賃ヲ以テ發賣シタノ二驛以上共通ノ乗車券使用者ハ該共通區間内ノ驛ニ於テ途中下車ヲ爲シ他ノ列車ニ乘繼クコトヲ得サルモノトス

第四款 定期乗車券運賃

第二十九條 定期乗車券ノ種類及等級ハ左ノ如シ

- 普通定期乗車券 二、三等
- 學生定期乗車券 三等
- 職工定期乗車券 三等

第三十條 普通定期乗車券及學生定期乗車券ノ通用期間ハ一箇月、三箇月、六箇月、十二箇月ノ四種トシ

第三十一條 普通定期乗車券ハ一般旅客ニ對シ通勤又ハ常時乗用トシテ、學生定期乗車券ハ官立、公立學校及監督官廳ノ認可ヲ得テ設立シタル私立學校ニ在學中ノ學生、生徒ニ對シ通學用トシテ、職工定期乗車券ハ工場法又ハ鑛業法ノ適用ヲ受ケ且鐵道省ノ指定シタル工場ニ勤務中ノ職工、徒弟及人夫ニ對シ通勤用トシテ左ノ割引運賃ヲ以テ之ヲ發賣ス

第三十二條 小兒用定期乗車券使用者ノ年齢カ通用

期間内ニ十二年ニ達スル場合ニ於テハ月割ヲ以テ計算

シタル大人運賃ト小兒運賃トノ合算額ヲ以テ之ヲ發賣

シ十二年ニ達スル日ノ屬スル一箇月ハ小兒運賃ニ依ル

第三十三條 學生、職工及小兒用ノ定期乗車券ヲ購求

スル者ハ驛長ノ請求ニ依リ左ノ證明文書ヲ提出スヘキ

モノトス

一 學生、生徒ニ在リテハ住所氏名及生年月日ヲ記

載シタル學校長發行ノ在學證明書

二 職工、徒弟、人夫ニ在リテハ住所、氏名及生年月

日ヲ記載シタル工場長又ハ支配人發行ノ通勤證

明書

三 前各號以外ノ小兒ニ在リテハ戶籍抄本

第三十四條 定期乗車券ハ記名人ニ限り使用スルコトヲ

得ルモノトス

職工定期乗車券使用者ヲ乗車セシムヘキ列車ハ鐵道

省ニ於テ之ヲ指定スルコトアルヘシ

第三十五條 定期乗車券ヲ使用スル者ハ乗降ノ際乗車

券ヲ係員ニ呈示スヘキモノトス

定期乗車券ノ使用ヲ終リタルトキハ遲滞ナク發行驛ニ

之ヲ交付スヘキモノトス其ノ效力ヲ失ヒタル場合亦同シ

第三十六條 定期乗車券ヲ使用スル者ハ該乗車券ヲ以

テ其ノ通用期間内何回ニテモ乗車船スルコトヲ得ルモノ

トス

第三十七條 定期乗車券ヲ使用スル者ハ任意ニ途中驛

ニ於テ乗降スルコトヲ得ルモノトス

第三十八條 乗車區間、通用期間、氏名又ハ年齢等ノ不

明トナリタル定期乗車券ハ之ヲ使用スルコトヲ得サルモ
ノトス

前項ノ場合ニ於テハ手數料二十錢ヲ支拂ヒ該券發行
驛ニ其ノ書換ヲ請求スルコトヲ得ルモノトス

第三十九條 定期乗車券ヲ紛失シタル者ハ遲滞ナク該
券發行驛ニ其ノ旨ヲ通告スヘキモノトス

前項ノ場合ニ於テハ手數料トシテ該券殘餘ノ通用期間
ニ對シ日割ニ依リ計算シタル運賃ノ二割ヲ支拂ヒ該券
發行驛ニ再發行ヲ請求スルコトヲ得ルモノトス

前項手數料ノ最低額ハ大人一圓、小兒五十錢トス

第四十條 定期乗車券使用者ハ種類若ハ等級ノ變
更又ハ區間ノ延長若ハ一部變更ノ爲該券發行驛ニ其
ノ書換ヲ請求スルコトヲ得ルモノトス

前項ノ場合ニ於テハ該券殘餘ノ通用期間ニ對シ日割
計算ニ依ル新舊運賃ヲ比較シ不足額ハ追徴シ過剩額
ハ拂戻ヲ爲サス

第四十一條 左ノ場合ニ於テハ定期乗車券ヲ無効トス

- 一 他人名義ノ定期乗車券ヲ使用シタルトキ
- 二 身分又ハ通學、通勤ノ事實若ハ其ノ區間ヲ偽リ
學生定期乗車券又ハ職工定期乗車券ヲ購求シタ
ルトキ
- 三 年齢ヲ偽リ大人カ小兒用定期乗車券ヲ購求シ
タルトキ
- 四 券面記載事項ヲ塗抹改竄シタルトキ
- 五 通用期間開始前ノ定期乗車券ヲ使用シタル
トキ

第四十六條 回数乗車券ハ記名人及其ノ同行者四名
以內ニ限り之ヲ使用スルコトヲ得ルモノトス

第四十七條 大人用回数乗車券ハ其ノ一片ヲ以テ小兒
二名、小兒用回数乗車券ハ其ノ二片ヲ以テ大人一名
之ヲ使用スルコトヲ得ルモノトス

第四十八條 回数乗車券ヲ使用スル者ハ乗車船ノ際表
紙ノ完備セル冊子ヲ呈示シテ所要券片ニ改缺ヲ受ケ下
車又ハ下船ノ際係員ニ其ノ券片ヲ交付スヘキモノトス

第三十五條第二項ノ規定ハ回数乗車券ノ效力ヲ失ヒ
タル場合ニ之ヲ準用ス

第四十九條 回数乗車券使用者ハ途中下車ヲ爲シ他ノ
列車又ハ汽船ニ乘繼クコトヲ得サルモノトス

第五十條 左ノ場合ニ於テハ回数乗車券ヲ無効トス

- 一 第四十六條以外ノ者回数乗車券ヲ使用シタル
トキ
- 二 券面ノ記載事項ヲ塗抹改竄シタルトキ
- 三 鐵道營業法第四十二條ニ依リ處分セラレタルトキ

第六款 特種割引旅客運賃

第五十二條 官立、公立學校及監督官廳ノ認可ヲ得テ
設立シタル私立學校ノ教員、生徒監、舍監、學生、生徒
旅行ノ場合ニ於テハ一定ノ割引證ヲ收受シ教員、生徒
監及舍監ニ對シテハ二三等旅客運賃ノ二割ヲ、學生及
生徒ニ對シテハ三等旅客運賃ノ二割ヲ低減ス但シ小兒
ハ此ノ限ニ在ラス

第五十三條 前條ニ依リ旅行スル者ハ住所、氏名及生年

月日ヲ記載シタル當該學校長發行ノ身分證明書ヲ携帶シ係員ノ請求アルトキハ何時ニテモ之ヲ呈示スヘキモノトス

第五十四條 第五十二條ノ割引證ハ鐵道省所定ノ様式ニ依リ文部省ニ於テ、文部省所管以外ノモノハ當該監督官廳ニ於テ之ヲ作製シ關係學校ヨリ本人ニ交付スルモノトス

第五十五條 左ノ場合ニ於テ軍人、軍屬ノ遺族カ參拜ノ爲往復旅行ヲ爲ストキハ一定ノ割引證ヲ收受シ二三等旅客運賃ノ五割ヲ低減ス

- 一 靖國神社ニ於テ大祭ヲ舉行スルトキ
- 二 陸海軍又ハ道府縣郡市ニ於テ招魂祭ヲ舉行スルトキ

第五十六條 左ノ場合ニ於テ出品人及關係役員カ往復旅行ヲ爲ストキハ大人ニ限り一定ノ割引證ヲ收受シ二三等旅客運賃ノ二割ヲ低減ス

- 一 官公衙、官立、公立學校又ハ公法人若ハ公益法人カ博覽會、共進會、品評會、展覽會等ヲ開催スルトキ
- 二 官公衙ヨリ相當ノ補助ヲ受ケ前號以外ノ者カ博覽會、共進會、品評會、展覽會等ヲ開催スルトキ

第五十七條 公法人又ハ公益法人ノ總會、大會等ニ參列スル者百名以上往復旅行ヲ爲ストキハ大人ニ限り一定ノ割引證ヲ收受シ二三等旅客運賃ノ二割ヲ低減ス

第五十八條 左ノ場合ニ於テ參列者カ往復旅行ヲ爲ストキハ大人ニ限り一定ノ割引證ヲ收受シ百名以上ノトキハ二三等旅客運賃ノ三割ヲ、三百名以上ノトキハ同

運賃ノ五割ヲ低減ス

- 一 官公衙、官立、公立學校、監督官廳ノ認可ヲ得設立シタル私立學校又ハ教育會カ學術大會又ハ教育大會ヲ開催スルトキ
- 二 官公衙又ハ公益法人カ感化、救濟、地方改良、修養等ニ關スル講習會又ハ大會ヲ開催スルトキ

第五十九條 前二條ノ場合ニ於テ實際乘車船人員カ各所定ノ人員ニ滿タサルトキハ主催者ヨリ其ノ不足人員ニ對スル五十哩分ノ各所定ノ三等割引旅客運賃ヲ收受ス

第六十條 第五十五條乃至第五十八條ニ依リ旅客運賃ノ割引ヲ受ケムトスルトキハ主催者ヨリ規則書其ノ他參考トナルヘキ書類ヲ添附シテ其ノ申込書ヲ鐵道省運輸局又ハ最寄鐵道局運輸課ニ差出スヘキモノトス

第六十一條 第五十五條乃至第五十八條ニ依ル旅客運賃ノ割引區間及期間其ノ他ノ取扱條件ハ臨時ノ約束ニ依ル

第六十二條 第五十五條乃至第五十八條ノ割引證ハ鐵道省所定ノ様式ニ依リ主催者之ヲ作製シテ本人ニ交付スルモノトス

第六十三條 鐵道省ノ指定シタル孤兒院、養育院、感化院等ニテ救護ヲ受クル者旅行ノ場合ニ於テハ一定ノ割引證ヲ收受シ三等旅客運賃ノ五割ヲ低減ス

前項ノ場合ニ於テ被救護者カ老幼、不具又ハ逃走ノ虞アル爲鐵道省ニテ特ニ附添人ヲ要スル者ト認メタルトキハ被救護者一人ニ付附添人一人ヲ限り被救護者ト同一ノ割引ヲ爲ス

第六十四條 前條ニ依リ旅客運賃ノ割引ヲ受ケタル者ハ

急行料金ヲ要スル列車又ハ汽船ニ乗車船スルコトヲ得サルモノトス

第六十五條 第六十三條ノ割引證ハ鐵道省所定ノ様式ニ依リ内務省ニ於テ之ヲ作製シ孤兒院、養育院又ハ感化院等ヨリ本人ニ交付スルモノトス

第六十六條 鐵道省指定ノ地ニ移住スル移民旅行ノ場合ニ於テハ一定ノ割引證ヲ收受シ三等旅客運賃ノ五割ヲ低減ス

前項ニ依ル旅客運賃ノ割引ハ移住地ニ至ル順路ニ由リ片道一回限トス

第六十七條 第六十四條ノ規定ハ前條ニ依リ旅客運賃ノ割引ヲ受ケタル者旅行ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六十八條 第六十六條ノ割引證ハ鐵道省所定ノ様式ニ依リ内務省、外務省、拓殖局ニ於テ之ヲ作製シ市區町村役場又ハ警察署ヨリ、海外移民ニ在リテハ道府縣又ハ警視廳ヨリ本人ニ交付スルモノトス

第三節 急行料金

第六十九條 鐵道省指定ノ急行列車ニ乗車スル者ハ左ノ急行料金ヲ支拂ヒ其ノ乗車驛ヲ指定シ且特別急行列車ニ乗車スル場合ニ在リテハ乗車スヘキ日ノ列車ヲ指定シテ相當ノ急行列車券ヲ購求スヘキモノトス

普通急行料金

等級	哩程	二百五十哩迄	五百哩迄	五百一哩以上
一等	等	二圓	三圓	三圓七十五錢
二等	等	一圓三十錢	二圓	二圓五十錢
三等	等	六十五錢	一圓	一圓二十五錢

特別急行料金

等級	哩程	二百五十哩迄	五百哩迄	五百一哩以上
一等	等	四圓	六圓	七圓五十錢
二等	等	二圓五十錢	四圓	五圓
三等	等	一圓	二圓	二圓五十錢

小兒ニ對スル急行料金ハ前項料金ノ半額トス

第二十六條ノ特定區間ニ於ケル急行料金ハ近距離線經由ノ哩程ニ依リ之ヲ計算ス

第七十條 鐵道省指定ノ急行汽船ニ乗船スル者ハ左ノ急行料金ヲ支拂ヒ急行汽船券ヲ購求スヘキモノトス

一等	五圓
二等	一圓
三等	一圓五十錢

小兒ニ對スル急行料金ハ前項料金ノ半額トス

第七十一條 普通急行列車券ハ發行當日共二日內ニ、急行汽船券ハ發行當日中ニ其ノ使用ヲ開始スルニ非サレハ之ヲ無効トス

特別急行列車券ハ該券面記載ノ日ノ列車ノ座席ニ限リ之ヲ使用スルコトヲ得ルモノトス

第七十二條 特別急行列車券ヲ購求シ指定ノ乗車驛ヨリ乗車セサル者ハ係員ニ於テ當該座席ヲ他ノ旅客ニ使用セシメタル場合ト雖異議ヲ述フルコトヲ得サルモノトス

第七十三條 特別急行列車ニ乗車スル者ハ列車出發日ノ四日前ヨリ特別急行列車券ヲ購求スルコトヲ得ルモノトス

第七十四條 急行列車ニ乗車シタル者カ途中下車ヲ爲シタルトキハ該急行列車券ハ前途之ヲ無効トス

第七十五條 旅客カ急行列車又ハ急行汽船ニ乗車船スルトキハ急行列車券又ハ急行汽船券ニ改缺ヲ受ケ下車又ハ下船ノ際係員ニ之ヲ交付スヘキモノトス

第四節 寢臺料金

第七十六條 寢臺ヲ使用スル者ハ左ノ寢臺料金ノ支拂ヒ其ノ乗車驛、乗車スヘキ日ノ列車及寢臺ノ種類ヲ指定シテ相當ノ寢臺券ヲ購求スヘキモノトス但シ青森函館間及下關釜山間航路ニ於テ一等旅客運賃ヲ支拂ヒタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

列車ノ二等寢臺	並形	一夜ニ付一箇	上段 三圓
			下段 四圓五十錢
同	大形	同	下段 六圓五十錢
列車ノ一等寢臺	並形	同	上段 五圓
			下段 七圓
汽船ノ二等寢臺	一箇	甲 (別室) 一圓	
		乙 (普通室) 五十錢	

第七十七條 列車ノ寢臺ヲ使用スル者ハ列車出發日ノ四日前ヨリ其ノ寢臺券ヲ購求スルコトヲ得ルモノトス
第七十二條ノ規定ハ寢臺券ヲ購求シタル者カ指定ノ乗車驛ヨリ乗車セサル場合ニ之ヲ準用ス

第二章 團體運送

第七十八條 團體旅客ノ種類ハ左ノ如シ

- 一 特別團體
 - イ 官立、公立學校及監督官廳ノ認可ヲ得テ設立シタル私立學校ノ學生、生徒及教職員並鐵道省ニ於テ特ニ認メタル生徒ノ附添人ヨリ成ル團體ニシテ教職員カ引率スルモノ

- ロ 工場法若ハ鑛業法ノ適用ヲ受クル工場ノ労働者、鑛夫又ハ出稼漁夫ノ團體ニシテ相當責任アル代表者カ引率スルモノ
- ハ 鐵道省ニ於テ特ニ認メタル労働者又ハ之ニ準スヘキ者ノ團體ニシテ相當責任アル代表者カ引率スルモノ

二 普通團體

特別團體以外ノ團體ニシテ相當責任アル代表者カ引率スルモノ

第七十九條 團體旅客ニ對シテハ五十人以上一團ト爲リ旅行スル場合ニ限リ四月ヲ除ク外三等旅客運賃ノ割引ヲ爲ス但シ運輸上ノ支障アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第八十條 團體旅客ニ對スル旅客運賃ノ割引率ハ左ノ如シ

輸送期間	特別團體		普通團體	
	五十人以上	二百人以上	五十人以上	二百人以上
第一期	二割五分三	割四	割一	割一割五分二
第二期	割五	割六	割二	割二割五分三

輸送期間第一期トハ一月一日ヨリ同月十日迄、三月一日ヨリ同月末日迄、五月一日ヨリ同月末日迄及七月一日ヨリ十二月末日迄ヲ謂フ
輸送期間第二期トハ一月十一日ヨリ二月末日迄及六月一日ヨリ同月末日迄ヲ謂フ

第八十一條 團體旅客ハ前條ノ人員ニ達セサル場合ト

雖前條所定ノ相當旅客運賃ヲ支拂ヒ所定ノ割引ヲ受クルコトヲ得ルモノトス

第八十二條 團體旅客運賃ノ割引ヲ爲ス場合ニ於テハ總人員ニ對スル普通旅客運賃又ハ第二十六條ノ特定旅客運賃ノ總額ヨリ割引額ヲ控除ス

第八十三條 團體旅客ニ對シ旅客運賃ノ割引ヲ爲ストキハ百人未滿ノ團體ニ在リテハ内一人、百人以上ノ團體ニ在リテハ百人毎ニ内一人ヲ監督者トシテ無賃ニテ乗車船セシム

第八十四條 團體旅客ハ豫メ鐵道省ノ承諾ヲ得タル場合ヲ除クノ外途中下車ヲ爲シ他ノ列車又ハ汽船ニ乘繼クコトヲ得サルモノトス

第八十五條 團體旅客運送ノ申込ヲ受ケタルトキハ鐵道省ハ必要ニ應シ豫メ團體代表者ヲシテ其ノ運賃豫定額一割以内ノ金額ヲ豫納セシムルモノトス
團體代表者カ違約シタル場合ニ於テハ鐵道省ハ前項ノ豫納金ヲ還付セサルコトアルヘシ

第八十六條 第九條第四項、第十一條、第十三條乃至第十六條、第十八條及第二十條ノ規定ハ團體旅客運送ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三章 貸切運送

第一節 列車及汽船

第八十七條 旅客ノ申込ニ依リ臨時ニ列車ヲ運轉シ之ヲ貸切ト爲ス場合ニ於テハ使用客車ノ定員ニ對スル大人ノ普通旅客運賃又ハ特定旅客運賃ヲ收受ス但シ蒸汽列車又ハ電氣列車ノ貸切最低運賃ハ二十五哩ニ對スル大人ノ三等普通旅客運賃ノ二百人分トス

旅客ノ申込ニ依リ臨時ニ汽船ヲ運航シ之ヲ貸切ト爲ス場合ニ於テハ臨時ノ約束ニ依ル
第八十八條 列車貸切ノ場合ニ於テハ該列車又ハ其ノ編成用車輛ヲ空車ニテ廻送スルトキハ別ニ定ムル廻送料金ヲ收受ス列車廻送後貸切申込者カ解約シタル場合亦同シ

第八十九條 列車貸切ノ場合ニ於テ貸切申込者ノ都合ニ依リ該列車又ハ車輛ヲ同一驛ニ六時間以上滞留セシムルトキハ別ニ定ムル留置料金を收受ス

第九十條 第九條第四項、第十一條、第十三條乃至第十六條、第八十四條及第八十五條ノ規定ハ列車貸切ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二節 客車及船室

第九十一條 客車ヲ貸切ト爲ス場合ニ於テハ使用車ノ全車又ハ車室ノ定員ニ對スル大人ノ普通旅客運賃又ハ特定旅客運賃ヲ收受ス

第九十二條 左ノ車輛ヲ貸切ト爲ス場合ニ於テハ左ノ各號ニ依リ大人ノ普通旅客運賃又ハ第二十六條ノ特定旅客運賃ヲ收受ス

大形特別車	一等	四十人分
展望車	一等	四十人分
柩車	甲號	二十人分
	乙號	十五人分
病客車	中形	二十人分
	小形	十人分

第九十三條 柩車、病客車其ノ他ノ車輛ヲ貸切ト爲シ之ヲ以テ死體ヲ運送スル場合ニ於テハ前條貸切運賃ノ外ニ第七十一條ノ死體運賃ヲ收受ス

第九十四條 寢臺車ノ全車又ハ車室ヲ貸切ト爲ス場合ニ於テハ寢臺定員ニ對スル大人ノ普通旅客運賃又ハ第二十六條ノ特定旅客運賃ト第七十六條ノ寢臺料金トヲ收受ス

第九十五條 横臥患者輸送ノ爲左ノ手荷物緩急車ヲ貸切ト爲ス場合ニ於テハ左ノ各號ニ依リ大人普通旅客運賃又ハ第二十六條ノ特定旅客運賃ヲ收受ス

- 一 大形手荷物緩急車 三等 二十八分
- 二 小形手荷物緩急車 同 十分

第九十六條 第九十一條、第九十二條、第九十四條及第九十五條ノ場合ニ於テ蒸氣列車又ハ電氣列車ニ貸切車ヲ連結スルトキノ最低運賃ハ該各條ニ依リ計算シタル二十五哩分ノ運賃トス

第九十七條 第九十一條、第九十二條、第九十四條及第九十五條ノ場合ニ於テ貸切車ヲ急行料金ヲ要スル列車ニ連結スルトキハ別ニ其ノ定員ニ對スル第六十九條ノ急行料金ヲ收受ス

第九十八條 第八十八條乃至第九十條ノ規定ハ客車貸切ノ場合ニ之ヲ準用ス

第九十九條 青森函館間及下關釜山間航路ニ於ケル連絡船内ノ特別室ヲ貸切ト爲ス場合ニ於テハ現乗船人員ニ對スル大人普通旅客運賃ノ外ニ左ノ船室料金ヲ收受ス

- 青森函館間 四圓
- 下關釜山間 三十圓

第一百條 航路ニ於テハ前條ニ依ル場合ヲ除クノ外船室ノ貸切ヲ爲サス

第四章 追徴及拂戻

第一節 無札

第一百一條 左ノ所爲ヲ爲シタル者(以下無札旅客トス)ニ對シテハ其ノ乗車船區間ニ相當スル普通旅客運賃又ハ特定旅客運賃及之ト同額ノ割増金ヲ收受ス

一 係員ノ承諾ヲ得ス乗車券ヲ所持セスシテ乗車船スルコト

二 乗車券(定期乗車券ヲ除ク)ニ改缺ヲ受ケスシテ乗車船スルコト

三 係員ノ承諾ヲ得ス乗車券面記載ノ區間外ヲ乗車船スルコト

四 係員ノ承諾ヲ得ス乗車券面記載ノ等級ヨリ上級ノ車船室ニ乗車船スルコト

五 大人カ小兒用乗車券ヲ以テ乗車船スルコト但シ第四十七條ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス

六 學生、移民其ノ他ノ特定人ニ對スル割引乗車券ヲ以テ特定人以外ノ者乗車船スルコト

七 乗車列車ヲ指定セラレタル乗車券ヲ以テ指定以外ノ列車ニ乗車スルコト

八 通用期間滿了、券面記載文字ノ改竄其ノ他ノ事由ニ因ル無効ノ乗車券ヲ以テ乗車船スルコト

九 乗車券検査ノ際其ノ呈示ヲ拒ミ又ハ其ノ取集ノ際之ヲ渡ササルコト

第一百二條 前條第五號及第六號ノ場合ニ於テハ旅客所持ノ乗車券ヲ回收シ既收ノ旅客運賃ハ之カ拂戻ヲ爲サス

第一百三條 團體旅客カ乗車券面記載ノ人員ヲ超過シテ

乗車船シタル場合ニ於テハ該超過人員ヲ團體以外ノ無札旅客トシテ該團體始發驛ヨリノ普通旅客運賃又ハ特定旅客運賃及之ト同額ノ割増金ヲ收受ス
前項ノ規定ハ貸切ト爲シタル列車、汽船、客車及船室ヲ使用スル旅客カ乗車券面記載ノ定員ヲ超過シタル場合ニ之ヲ準用ス

第百四條 無札旅客ノ乗車船驛判明セサル場合ニ於テハ當該列車又ハ汽船出發地ヨリノ普通旅客運賃又ハ特定旅客運賃及之ト同額ノ割増金ヲ、其ノ乗車船等級判明セサル場合ニ於テハ當該列車又ハ汽船ノ最上級ニ依ル普通旅客運賃又ハ第二十六條ノ特定旅客運賃及之ト同額ノ割増金ヲ收受ス

第百五條 無札旅客ニ對スル最高ノ割増金ハ旅客一人一回ノ乗車船ニ付左ノ金額トス

三等

四圓

二等(二三等連絡ノ場合ヲ含ム) 八圓

一等(一二等、一三等、一二三等(等連絡ノ場合ヲ含ム)) 十二圓

小兒ニ對スル最高ノ割増金ハ前項金額ノ半額トス

第百六條 本節ノ規定ハ急行列車券、急行汽船券及寢臺券ニ之ヲ準用ス但シ第百一條第二號ニ該當スルモノハ此ノ限ニ在ラス

第二節 乗車券紛失

第百七條 旅客カ乗車券、急行列車券、急行汽船券ヲ紛失シタルトキキハ更ニ相當ノ旅客運賃、急行料金を支拂ヒ之ニ對スル證明書ノ交付ヲ請求スルコトヲ得ルモノトス但シ定期乗車券又ハ回数乗車券ヲ紛失シタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ場合ニ於テ旅客カ乗車船後ニ乗車券紛失ノ申告ヲ爲シタルトキキハ其ノ事實ヲ認定シ能ハサル場合ニ限リ第百一條及第百四條乃至第百六條ノ規定ヲ準用ス
第百八條 前條ニ依リ旅客運賃、急行料金を、割増金ヲ支拂ヒタル者カ紛失シタル乗車券、急行列車券、急行汽船券ヲ發見シタルトキキハ該乗車券、急行列車券、急行汽船券ト證明書トヲ還付シテ該旅客運賃、急行料金を、割増金ノ拂戻ヲ請求スルコトヲ得ルモノトス但シ證明書發行ノ日ヨリ一箇年ヲ經過シタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第三節 等級變更

第百九條 旅客カ係員ノ承諾ヲ得テ上級ノ車船室ニ乗換ヲ爲ス場合ニ於テハ乘換區間ニ對スル上級ノ普通旅客運賃又ハ第二十六條ノ特定旅客運賃、急行料金を、下級ノ普通旅客運賃又ハ特定旅客運賃、急行料金を、ノ差額ヲ且列車寢臺使用ノ場合ニ在リテハ左ノ各號ニ依リ計算シタル寢臺料金を、差額又ハ全額ヲ收受ス

一 寢臺裝置前ニ乗換ヲ爲ストキハ上級ノ寢臺料金を、下級ノ寢臺料金を、ノ差額

二 寢臺裝置後ニシテ其ノ使用開始前ニ乗換ヲ爲ストキハ上級ノ寢臺料金を、下級ノ寢臺料金を、ヨリ手數料一圓ヲ控除シタル額トノ差額

三 寢臺使用開始後ニ乗換ヲ爲ストキハ別ニ上級相當ノ寢臺料金を、全額

第百十條 旅客ハ車輛ノ故障其ノ他自己ノ責ニ歸スヘカラサル事由ニ因リ乗車券面等級相當ノ車船室ニ乗車船スルコト能ハサル場合ニ於テハ其ノ旨ヲ係員ニ申告シテ原乗車券等級以下ノ車船室ニ乗換ヲ爲シ其ノ乗換

區間ニ對スル上級ノ旅客運賃、急行料金ト下級ノ旅客運賃、急行料金トノ差額拂戻ヲ請求スルコトヲ得ルモノトス但シ定期乗車券又ハ回数乗車券ニ依リ乗車船ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス
前項ノ規定ハ旅客カ自己ノ責ニ歸スヘカラサル事由ニ因リ上級ノ列車寢臺ヨリ下級ノ列車寢臺ニ乗換ヲ爲シタル場合ニ之ヲ準用ス

第四節 乗越、方向變更及徑路變更

第百十一條 旅客カ係員ノ承諾ヲ得テ乗車券面記載ノ著驛ヲ乗越シ又ハ乗車券面記載ノ發著區間ト異ナル區間ニ方向ヲ變更シテ乗車船シ若ハ乗車券面記載ノ經由線路ト異ナル線路ニ徑路ヲ變更シテ乗車船スル場合ニ於テハ左ノ各號ニ依リ計算シタル普通旅客運賃又ハ特定旅客運賃、急行料金ヲ收受シ既收運賃、料金ノ過剩額ハ之カ拂戻ヲ爲サス

一 乗越ノ場合

イ 旅客運賃 乗越區間ニ對スル相當ノ運賃
ロ 急行料金 乗越區間ニ對スル相當ノ料金但シ同一列車ナルトキハ現乗車區間ニ對スル相當ノ料金ヨリ原急行列車券ニ對スル相當ノ料金ヲ控除シタル殘額

二 方向變更、徑路變更ノ場合

變更乗車船區間ニ對スル普通旅客運賃又ハ特定旅客運賃ヨリ原乗車券面記載區間中ノ不乘區間ニ對スル普通旅客運賃又ハ特定旅客運賃ヲ控除シタル殘額但シ現乗車區間ノ哩程カ環狀線ノ四分ノ三以上トナルトキハ第十三條ニ依リ計算シタル運賃ヨリ既收運賃ヲ控除シタル殘額トス

第百十二條 旅客ハ乗車券面記載區間ノ一部復乗トナルヘキ方向變更又ハ徑路變更ノ取扱ヲ請求スルコトヲ得サルモノトス

第五節 運賃概算拂

第百十三條 旅客ハ時間切迫其ノ他已ムヲ得サル事由ニ因リ乗車券、急行列車券、急行汽船券ヲ購求スルコト能ハサル場合ニ於テ係員ノ承諾ヲ得テ乗車船シタルトキハ旅客運賃、急行料金ノ概算額ヲ支拂フヘキモノトス
前項ノ規定ハ無札、乗車券紛失、上級乗換、乗越、方向變更及徑路變更ノ取扱ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス
第百十四條 前條ニ依リ收受シタル旅客運賃及急行料金ノ概算額ハ旅客ノ途中下車驛又ハ着驛ニ於テ之カ精算ヲ爲ス

第六節 旅行見合

第百十五條 旅客カ乗車券購求後旅行ヲ見合セタル場合ニ於テハ乗車券ノ改缺前ニシテ且其ノ通用期間内ナルトキニ限り該券ヲ還付シテ既ニ支拂ヒタル旅客運賃ノ拂戻ヲ請求スルコトヲ得ルモノトス
前項ノ規定ハ急行料金拂戻ノ場合ニ之ヲ準用ス但シ特別急行料金、汽船急行料金拂戻ノ請求ハ當該列車又ハ汽船カ旅客ノ乗車船スヘキ驛ヲ出發スル前ニ限ルモノトス

第百十六條 前條第一項ノ規定ハ往復乗車券ノ復片又ハ廻遊乗車券ノ第二片以下ノ各片ニ之ヲ準用ス
前項ノ場合ニ於テ乗車券カ割引運賃ニ依リ發賣セラレ

タルモノナルトキハ既ニ收受シタル該運賃ノ總額ヨリ使用済ノ各券片ニ對スル普通旅客運賃又ハ特定旅客運賃ヲ控除シタル殘額ノ拂戻ヲ爲ス

第百十七條 定期乗車券所持者ハ該券不用トナリタル場合ニ於テハ之ヲ還付シテ左ノ金額ノ拂戻ヲ請求スルコトヲ得ルモノトス

一 使用開始期日前ニ定期乗車券運賃ノ拂戻ヲ請求スル者ニ對シテハ既ニ支拂ヒタル該運賃ヨリ手數料五十錢ヲ控除シタル殘額

二 使用開始期日後ニ定期乗車券運賃ノ拂戻ヲ請求スル者ニ對シテハ該券ノ通用期間内ナルトキニ限リ既ニ支拂ヒタル該運賃ヨリ經過シタル月數ニ相當スル定期乗車券運賃及手數料五十錢ヲ控除シタル殘額

前項第二號ノ場合ニ於テハ拂戻請求ノ當日ハ之ヲ經過ノ日數ニ算入シ一箇月未滿ノ經過月數ハ之ヲ一箇月トシテ計算ス

第百十八條 回数乗車券使用者ハ該券不用トナリタル場合ニ於テハ其ノ通用期間内ニ限り之ヲ還付シテ左ノ金額ノ拂戻ヲ請求スルコトヲ得ルモノトス

一 使用開始前ニ回数乗車券運賃ノ拂戻ヲ請求スル者ニ對シテハ既ニ支拂ヒタル該運賃ヨリ手數料五十錢ヲ控除シタル殘額

二 一部使用後ニ回数乗車券運賃ノ拂戻ヲ請求スル者ニ對シテハ既ニ支拂ヒタル該運賃ヨリ使用済券片ニ對スル當該區間ノ普通旅客運賃又ハ特定旅客運賃ト手數料五十錢トヲ控除シタル殘額

第百十九條 列車ノ寢臺券ヲ購求シタル者ハ當該列車

カ其ノ乗車驛ヲ出發スル前ニ限り該券ヲ還付シテ既ニ支拂ヒタル寢臺料金ノ半額ノ拂戻ヲ請求スルコトヲ得ルモノトス

第百二十條 旅客ハ車輛ノ故障其ノ他自己ノ責ニ歸ス

ヘカラサル事由ニ因リ乗車券面記載等級相當ノ車船室ニ乗車船スルコト能ハサル場合ニ於テハ相當日數ノ乗車券通用期間ノ延長ヲ請求シ又ハ其ノ旅行ヲ止メ左ノ金額ノ拂戻ヲ請求スルコトヲ得ルモノトス

一 旅行開始前ニ旅客運賃、急行料金ノ拂戻ヲ請求スル者ニ對シテハ既ニ支拂ヒタル該運賃、料金ノ全額

二 旅行開始後ニ旅客運賃、急行料金ノ拂戻ヲ請求スル者ニ對シテハ既ニ支拂ヒタル該運賃、料金ヨリ現乗車船區間ニ對スル普通旅客運賃又ハ特定旅客運賃、急行料金ヲ控除シタル殘額

前項ノ規定ハ定期乗車券又ハ回数乗車券使用者ニ對シテハ之ヲ適用セス

第七節 列車又ハ汽船運行不能及遲延

第百二十一條 旅客ハ左ノ場合ニ於テハ相當日數ノ乗車券通用期間ノ延長ヲ請求シ又ハ其ノ旅行ヲ止メ第百二十二條及第百二十三條ニ依リ無賃送還及旅客運賃ノ拂戻ヲ請求スルコトヲ得ルモノトス但シ第一號ノ場合ニ於テ旅客ノ請求ニ依リ特ニ列車又ハ汽船ノ運行不能區間ヲ通シテ乗車券ヲ發賣シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

一 列車又ハ汽船ノ運行不能トナリタルトキ

二 列車又ハ汽船運行時刻ニ遲延ヲ來シ接續スヘキ列車又ハ汽船ニ接續ヲ缺キ又ハ到着時刻ニ二時間以上ノ遲延ヲ來シタルトキ但シ電車、汽動車又ハ下關門司間若ハ宮島嚴島町間連絡船ニ接續ヲ缺キタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第二百二十二號 前條ノ場合ニ於ケル無貨送還ノ取扱方ハ左ノ各號ニ依ル

一 不可抗力ニ因リ列車又ハ汽船ノ運行不能トナリ又ハ遲延シタル場合ニ於テハ乗車券面記載ノ發驛迄無貨送還ヲ爲ス但シ旅客カ既乗車船區間ニ於テ途中下車ヲ爲シタルトキハ其ノ最近下車驛迄トス

二 不可抗力ニ因ラス列車又ハ汽船ノ運行不能トナリ又ハ遲延シタル場合ニ於テハ乗車券面記載ノ發驛迄無貨送還ヲ爲ス

三 無貨送還ハ最近時刻ニ於テ目的地ニ向ケ出發スル列車又ハ汽船ニ乗車船スル場合ニ限リ且其ノ乗車船等級ハ原乗車券面記載ノ等級ニ依ル但シ當該列車又ハ汽船ニ相當等級ノ車船室設ケナキトキハ順次上級ニ依リ、上級ノ車船室設ケナキトキハ順次下級ニ依ル

四 特別急行列車又ハ急行汽船ニ依リ無貨送還ヲ受クル者ニ對シテハ第六十九條ノ特別急行料金又ハ第七十條ノ汽船急行料金ヲ收受ス

第二百二十三條 第二百二十一條ノ場合ニ於ケル旅客運賃ノ拂戻額ハ左ノ通トス

一 不可抗力ニ因リ列車又ハ汽船ノ運行不能トナリ又ハ遲延シタル場合ニ於テハ既ニ收受シタル旅客運賃ヨリ券面記載ノ發驛ト旅行中止驛又ハ送還發驛トノ間ノ普通旅客運賃又ハ特定旅客運賃ヲ控除シタル殘額

二 不可抗力ニ因ラス列車又ハ汽船ノ運行不能トナリ又ハ遲延シタル場合ニ於テ旅客カ發驛ニ復歸シタルトキハ既ニ收受シタル旅客運賃ノ全額、旅客カ發驛ニ復歸セスシテ旅行ヲ中止シタルトキハ既ニ收受シタル旅客運賃ヨリ券面記載ノ發驛ト旅行中止驛トノ間ノ普通旅客運賃又ハ特定旅客運賃ヲ控除シタル殘額

第二百二十四條 定期乗車券又ハ回数乗車券使用者ハ第二百二十一條ノ規定ニ拘ラス列車又ハ汽船ノ運行ヲ引續キ五日以上休止シタル場合ニ限リ相當日數ノ乗車券通用期間ノ延長又ハ第二百二十五條ニ依リ該運賃ノ拂戻ヲ請求スルコトヲ得ルモノトス

第二百二十五條 前條ノ場合ニ於ケル旅客運賃ノ拂戻額ハ左ノ通トス

一 定期乗車券ニ在リテハ原乗車券ノ通用期間ト同一ノ不使用區間ニ對スル定期乗車券運賃ヲ日割ニ依リ計算シタル休止日數ニ相當スル金額
二 回数乗車券ニ在リテハ既ニ收受シタル回数乗車券運賃ヲ總券片數ニテ除シ之ニ殘餘ノ券片數ヲ乘シタル金額

第二百二十六條 急行列車又ハ急行汽船ニ乗車船セル者ハ第二百二十一條ノ場合ニ於テハ既ニ支拂ヒタル急行料

金全額ノ拂戻ヲ請求スルコトヲ得ルモノトス

第百二十七條 寢臺使用者ハ運輸上ノ支障ニ因リ寢臺ノ使用不能トナリタル場合ニ於テハ左ノ各號ニ依リ該料金ノ拂戻ヲ請求スルコトヲ得ルモノトス

一 寢臺ノ使用開始前ニ在リテハ既ニ支拂ヒタル寢臺料金ノ全額

二 寢臺ノ使用開始後ニ在リテハ豫定ノ使用時間ト現使用時間トヲ比較シ後者カ前者ノ半以内ナルトキハ既ニ支拂ヒタル寢臺料金ノ全額、半ヲ超ユルトキハ其ノ半額

第五章 乗車券引換證

第百二十八條 乗車券引換證ハ乗車券、急行列車券、急行汽船券、寢臺券(本章中以下乗車券トス)ト引換ノ用ニ供スルモノニシテ相當旅客運賃、急行料金、寢臺料金(本章中以下運賃、料金トス)ヲ拂込ミタル者ニ對シ之ヲ發行ス

第百二十九條 乗車券引換證所持者ハ該證發行ノ日ヨリ起算シ一箇月以内ニ限り之ト引換ニ相當乗車券ノ發行ヲ請求スルコトヲ得ルモノトス但シ發賣日ニ制限アル乗車券ト引換フル場合ニ於テハ該乗車券發賣ノ日ニ限り、特別急行列車券、寢臺券ト引換フル場合ニ在リテハ餘席アルトキニ限ル

第百三十條 乗車券引換證及之ニ對スル運賃、料金ノ領收證所持者ハ該證發行ノ日ヨリ起算シ二箇月以内ニ限り該證ヲ還付シテ乗車券引換證發行驛又ハ該引換證ニ依リ乗車券ヲ發行スヘキ驛ニ對シ運賃、料金ノ拂戻ヲ請求スルコトヲ得ルモノトス

第百三十一條 乗車券引換證ヲ紛失シタル者ハ該證ノ引換有効期間内ニシテ且乗車券ノ引換前ナルトキニ限り運賃、料金ノ領收證ヲ還付シテ該證發行驛ニ對シ相當引換證ノ再發行ヲ請求スルコトヲ得ルモノトス

前項ノ場合ニ於テハ紛失シタル引換證ニ對スル第百二十九條ノ引換有効期間滿了後ニ至リ再發行ヲ爲ス

第百三十二條 乗車券引換證ニ對スル運賃、料金ノ領收證所持者ハ第百三十條ノ有効期間内ニシテ且乗車券ノ引換前ナルトキニ限り該領收證ヲ還付シテ運賃、料金ノ拂戻ヲ請求スルコトヲ得ルモノトス

前項ノ場合ニ於テハ第百二十九條ノ引換有効期間滿了後ニ至リ乗車券引換證發行驛又ハ該引換證ニ依リ乗車券ヲ發行スヘキ驛ニ於テ之カ拂戻ヲ爲ス

第百三十三條 乗車券引換證ト引換ニ交付ヲ受ケタル乗車券所持者カ第百十五條及第百十六條ニ依リ運賃、料金ノ拂戻ヲ請求スル場合ニ於テハ乗車券ト共ニ該引換證ニ對スル運賃、料金ノ領收證ヲ還付スヘキモノトス

第六章 入場券

第一節 普通入場券

第百三十四條 乗降場ニ入り旅客ノ送迎ヲ爲ス者ハ左ノ入場料金ヲ支拂ヒ普通入場券ヲ購求スヘキモノトス但シ四年未滿ノ小兒ハ此ノ限ニ在ラス

東京、上野、大阪驛 每一人一回 十錢

前號以外ノ驛 同 五錢

第百三十五條 前條ノ入場料金ハ事由ノ如何ニ拘ラス之カ拂戻ヲ爲サス

第二編第六章

三四

第三百三十六條 普通入場券ノ發行ハ取締上必要アル場合ニ於テハ之ヲ制限シ又ハ停止スルコトアルヘシ

第三百三十七條 普通入場券ハ發行驛ニ於テ一回限り使用スルコトヲ得ルモノトス

第三百三十八條 普通入場券所持者ハ入場ノ際入場券ニ改缺ヲ受ケ出場ノ際係員ニ之ヲ交付スヘキモノトス

第三百三十九條 普通入場券所持者ハ左ノ所爲ヲ爲スコトヲ得サルモノトス
一 鞆、信玄袋、行李其ノ他ノ嵩高ナル物品ヲ携帶シテ入場スルコト

二 列車又ハ汽船内ニ立入ルコト

第二節 定期入場券

第四百十條 左ノ驛ニ於テ乗降場ニ入り常時旅客ノ送迎ヲ爲ス者ハ別ニ定ムル所ニ依リ左ノ定期入場料金ヲ支拂ヒ定期入場券ヲ購求スルコトヲ得ルモノトス
東京、上野、大阪驛
一 圓
二 圓
前號以外ノ指定驛

第四百十一條 第三百三十五條ノ規定ハ前條ノ定期入場料金ニ之ヲ準用ス

第四百十二條 定期入場券ハ發行驛ニ於テ發行當月中記名人ニ限り何回ニテモ之ヲ使用スルコトヲ得ルモノトス

第四百十三條 定期入場券所持者ハ出入ノ際之ヲ係員ニ呈示スヘキモノトス

第四百十四條 定期入場券ヲ紛失シタル者ハ遲滞ナク定期入場券ノ使用ヲ終リタルトキハ遲滞ナク發行驛ニ之ヲ交付スヘキモノトス其ノ效力ヲ失ヒタル場合亦同シ

第四百十五條 左ノ場合ニ於テハ定期入場券ヲ無効トシテ回收ス
一 記名人以外ノ者之ヲ使用シタルトキ
二 列車又ハ汽船内ニ立入り其ノ他不都合ノ所爲ヲ爲シタルトキ

第三編 手荷物、小荷物及旅客附隨小荷物ニ關スル規定

第一章 通則

第四百十六條 荷物運賃計算ノ場合ニ於ケル鐵道及航路ノ哩程ハ總テ之ヲ通算シ斤未滿ハ之ヲ一斤ニ切上ク

第四百十七條 一箇ノ荷物中ニ運賃ノ異ナル物品ヲ混入シタル場合ノ運賃ハ其ノ全斤量ニ對スル當該物品中最高率ノモノニ依ル

前項ノ規定ハ荷物ノ保管料金ニ之ヲ準用ス

第二章 手荷物運送

第四百十九條 旅客ハ旅行用具及鐵道省ニ於テ別ニ定ムル物品ニ限り之ヲ手荷物トシテ託送スルコトヲ得ルモノトス但シ左ニ該當スル物品ハ此ノ限ニ在ラス
一 一箇ノ長五尺、幅及厚三尺、容積三十立方尺又ハ重量二百五十斤ヲ超ユルモノ
二 他ノ物品ヲ損スル虞アルモノ
三 臭氣ヲ發シ又ハ不潔ナルモノ

四 易損品

五 商品

六 車輛類

七 貴重品(衣類ヲ除ク)

八 荷造不完全ノモノ

第百五十條 手荷物ハ堅牢ナル鞆類、行李、籠、葛籠、行囊等ニ之ヲ收納シ運送中ノ取扱ニ堪ユル程度ノ荷造ヲ爲スヘキモノトス

手荷物ニハ住所、氏名及送先驛ヲ記載シタル強靱ナル荷札ヲ附スヘキモノトス但シ荷造ノ關係上荷札ヲ附著スルコト能ハサルトキハ荷物自體又ハ破損ノ虞ナキ包裝ニ之ヲ明記スヘキモノトス

第百五十一條 手荷物ハ乗車券ノ徑路ト同一徑路ニ由リ之ヲ運送ス但シ二途以上ノ徑路アル場合ニ於テ遠距離線經由ノ乗車券所持者カ近距離線ニ由リ運送ノ請求ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第百五十二條 手荷物ハ旅客一人ニ付左ノ斤量迄ハ無賃ニテ之ヲ運送ス

- 三等 五十斤
- 二等 七十斤
- 一等 百斤

小兒ニ對スル無賃運送斤量ハ前項斤量ノ半トス

第百五十三條 手荷物ノ重量カ前條ノ無賃運送斤量ヲ超ユル場合ニ於テハ其ノ超過斤量ニ對シ第百六十四條ノ通常小荷物運賃ト同額ノ運賃ヲ收受ス

前項ノ場合ニ於ケル運賃ハ第百五十一條ノ運送徑路ニ由リ之ヲ計算ス

第百五十四條 第六十六條ノ場合ニ於ケル移民ノ手荷物ニ對シテハ前條ニ依ル運賃ノ五割ヲ低減ス

前項割引運賃ノ最低額ハ十五錢トス

第百五十五條 無賃運送斤量以內ノ手荷物ヲ二回以上ニ互リ託送スル者ハ託送驛ニ於テ豫メ其ノ託送斤量ノ證明ヲ受ケタル場合ヲ除クノ外再託送ノ分ニ對シ無賃扱ノ請求ヲ爲スコトヲ得サルモノトス

第百五十六條 手荷物二箇以上託送ノ場合ニ於ケル運賃ハ其ノ合算斤量ニ依リ之ヲ計算ス

第三章 小荷物運送

第一節 通則

第百五十七條 左ニ該當セサル物品ハ小荷物トシテ之ヲ託送スルコトヲ得ルモノトス

- 一 一箇ノ長七尺(幅及厚五寸以內ノモノハ長十尺)、幅及厚三尺五寸、容積二十立方尺又ハ重量五十斤ヲ超ユルモノ但シ鐵道省ニ於テ別ニ定ムル物品、犬及死體ヲ除ク

二 火藥類、危險品

三 他ノ物品ヲ損スル虞アルモノ

四 臭氣ヲ發シ又ハ不潔ナルモノ

五 荷造不完全ノモノ

第百五十八條 小荷物ノ運賃ハ最短徑路ノ哩程ニ依リ一箇毎ニ之ヲ計算ス

第百五十九條 第三種郵便物ノ認可ヲ受ケタル新聞紙、雜誌ノ特別運送ハ別ニ定ムル所ニ依ル

第百六十條 小荷物ハ重量、容積、品質、運送距離及積換回数ニ應シ左ノ標準ニ依リ荷造ヲ爲スヘキモノトス

但シ藤椅子、車輛類、鐵棒其ノ他物品ノ性質上荷造ヲ爲ササルモ運送土支障ナシト認ムルモノハ此ノ限ニ在ラス

- イ 織物類、衣類
 - 箱、葛籠、行李、鞆、板締、菰包、苧包、アンペラ包
 - 籠ハ俗稱鳥帽子籠及之ニ類似ノ脆弱ナルモノヲ用ヒサルコト
- ロ 野菜、果實類
 - 箱、籠、苧包、苧包、アンペラ包
- ハ 植木、盆栽、造花、冠、婚葬祭用飾物類
 - 箱、籠、梓
- ニ 帽子、寒天其ノ他ノ輕量品
 - 梓ヲ用フルトキハ中味ヲ包装スルコト
- ホ 肉類、魚類、介蟲類
 - 箱、籠、樽、叭、菰包、苧包、苧包、アンペラ包
- ヘ 死鳥類、卵
 - 箱、籠
- ト 小動物
 - 箱、籠、籠
 - 小鳥籠ニハ梓ヲ施スコト
- チ 繭
 - 箱、籠、布袋
- リ 紙幣、金銀地金、有價證券其ノ他ノ證書類
 - 箱、布包
- ヌ 金銀類ノ如キ高價ナルモノヲ除キタル地金、礦石類
 - 箱、叭、菰包、苧包、アンペラ包、布包
- ル 家具、器具、機械類
 - 箱、梓、菰包、苧包、アンペラ包
- ヲ 磁器、陶器、硝子器ノ類
 - 箱、梓、菰包
- ワ 小間物、化粧品、文房具、玩具、菓子類、乾物類
 - 箱、梓
 - 梓ヲ用フルトキハ中味ヲ包装スルコト
- カ 和洋紙、雜貨類
 - 板締、菰包、苧包、アンペラ包
- ヨ 新聞紙、雜誌
 - 布包、紙包

タ 各種流動物

樽、罐、甕、罎

甕入、罎入ノモノハ木箱詰、籠入又ハ梓締トスルコト

レ 其ノ他ノ物品

前記類似ノ物品ニ對スル荷造ニ準ス

小荷物ニハ荷送人及荷受人ノ住所、氏名並送先驛ヲ記載シタル強靱ナル荷札ヲ附スヘキモノトス但シ荷造ノ關係上荷札ヲ附著スルコト能サルトキハ荷物ノ自體又ハ破損ノ虞ナキ包装ニ之ヲ明記スヘキモノトス
第百六十一條 前條ノ容器ハ左ノ標準ニ依リ造リタルモノヲ使用スヘキモノトス

一 箱

- イ 長一尺以内ノモノハ厚正味二分以上、二尺以内ノモノハ厚正味三分以上、二尺ヲ超ユルモノハ厚正味四分以上ノ板ヲ以テ造リタルモノ
- ロ 木製以外ノモノハ其ノ強度カ木製ト同一程度ノモノ

二 梓

- イ 要部ハ幅正味一寸以上、厚正味四分以上、要部以外ハ幅正味五分以上、厚正味二分以上ノ板ヲ以テ造リ用材ト用材トノ間隔カ横又ハ縦ノ一方四寸以内ノモノ
- ロ 木製以外ノモノハ其ノ強度カ木製ト同一程度ノモノ

三 板締用板

- イ 厚正味二分以上ノ板ヲ以テ造リ其ノ兩端及中央ニ横棧ヲ打付ケタルモノ
- ロ 木製以外ノモノハ其ノ強度カ木製ト同一程度ノモノ

四 檻

厚正味四分以上ノ板ヲ以テ造リ格子ニハ鐵棒又ハ之ニ代ハルヘキ堅牢ナル材料ヲ使用シタルモノ

五 樽

容積一立方尺以内ノモノハ厚正味二分以上、一立方尺ヲ超エルモノハ厚正味四分以上ノ板ヲ以テ造リ之ニ皮付割竹又ハ之ニ代ルヘキ強靱ナル籐ヲ施シタルモノ

六 行李

籐、柳、竹又ハ之ニ代ルヘキ強靱ナル材料ヲ以テ造リタルモノ

七 葛籠

割竹ヲ以テ造リ要部ニ適當ナル木又ハ割竹ヲ添ヘタルモノ

八 鞆(「トランク」ヲ含ム)

皮革、擬革又ハ之ニ代ハルヘキ強靱ナル材料ヲ以テ造リタルモノ

九 籠

割竹又ハ之ニ代ハルヘキ強靱ナル材料ヲ以テ造リ編目ノ密ナルモノ

十 布包用布

強靱ナル綿布、麻布、「ズック」又ハ之ニ代ハルヘキモノ
第百六十二條 小荷物ノ容積一立方尺以内又ハ其ノ重量十斤以内ノモノニシテ左ノ標準ノ荷造ヲ爲スモ運送中ノ取扱ニ堪ユルモノハ前二條ノ規定ニ依ラサルコトヲ得ルモノトス

一 布包

二 油紙包又ハ和紙ヲ原料トシタル澁紙包若ハ之ニ代ハルヘキ強靱ナル和洋紙包

三 波形ボール紙ヲ挿入シテ張合セタル俗稱段ボール紙函

第百六十三條 小荷物ハ鐵道省ニ於テ適宜ノ徑路ニ由リ之ヲ運送ス

第二節 通常小荷物運賃

第百六十四條 通常小荷物ノ運賃ハ左ノ如シ

哩程	斤量	二斤迄	四斤迄	七斤迄	十斤迄	十五斤迄	二十斤迄	以上十斤迄ヲ増ス毎二斤
五十哩迄	一五	一五	二〇	二五	三〇	三五	四〇	一〇
百五十哩迄	一五	二〇	二五	三五	三五	四五	五五	二〇
三百哩迄	一五	二五	三五	四五	四五	六〇	七五	三〇
五百哩迄	一五	二五	四〇	五五	七五	九五	四〇	四〇
以上三百哩迄ヲ増ス毎二	五	一〇	一五	二〇	二五	三〇	一〇	一〇

第三節 易損品、嵩高品運賃

第百六十五條 左ノ物品ハ之ヲ易損品トシ其ノ運賃ハ前條ノ通常小荷物運賃ノ二倍トス

- 一 漆器、塗板、看板類、額、額縁
- 二 電球、硝子板、硝子器、陶器、磁器
- 三 輕キ紙細工物、造花、冠婚葬祭用飾物
- 四 動物剝製品
- 五 人形、羽子板、玩具類
- 六 粗製ノ時計類
- 七 衡器、計器類

- 八 電氣器具、燈器類
 - 九 醫療器具
 - 十 寫真機械及幻燈機械類(鏡玉ヲ除ク)
 - 十一 樂器類、蓄音機、蓄音器音譜
 - 十二 各種ノ模形
 - 十三 各種ノ機械類
 - 十四 壘詰、壘詰類
 - 十五 草木類(束ネタル苗木ヲ除ク)
 - 十六 線香
 - 十七 屏風、衝立、建具類、茶棚類、空簞筥類
 - 十八 麥稈帽子、山高帽子
 - 十九 節句雛、節句用飾物
 - 二十 前各號ニ類似ノ物品
- 前項ノ規定ハ荷主ノ請求ニ依リ通常小荷物ヲ易損品トシテ取扱フ爲ス場合ニ之ヲ準用ス
- 第百六十六條 左ノ物品ハ之ヲ嵩高品トシ其ノ運賃ハ第百六十四條ノ通常小荷物運賃ノ二倍トス
- 一 團扇、提燈
 - 二 椅子類、輕キ竹籐細工物
 - 三 空行李、空葛籠、各種空箱
 - 四 帽子(麥稈帽子及山高帽子ヲ除ク)、菅笠、編笠、麥稈眞田、麥稈細工物、經木眞田、經木細工物
 - 五 綿類(緊縛シタルモノヲ除ク)
 - 六 懷爐灰
 - 七 前各號類似ノ物品又ハ皆掛一立方尺ノ重量五斤以内ノモノ

第四節 新聞紙、雜誌運賃

第百六十七條 第三種郵便物ノ認可ヲ受ケタル新聞紙、雜誌ノ運賃ハ哩程ノ遠近ニ拘ラス一斤ニ付八厘トシ最低運賃ヲ四錢トス

第百六十八條 第百五十九條ノ規定ニ依リ特別運送ノ取扱ヲ爲ス新聞紙、雜誌ヲ一定ノ驛ヨリ毎月三千斤以上託送スル場合ノ運賃ハ哩程ノ遠近ニ拘ラス一斤ニ付五厘トシ最低運賃ヲ三錢トス

第百六十九條 第二十三條ノ規定ハ前二條ニ依ル運賃ノ算定額ニ厘位ヲ生シタル場合ニ之ヲ準用ス

第百七十條 前條ノ場合ニ於ケル月ノ計算ハ曆ニ依ル、契約ノ始期又ハ終期ノ屬スル月ハ其ノ日數ニ拘ラス之ヲ一箇月トシテ計算ス

第五節 車輛類運賃

第百七十一條 車輛類ノ運賃ハ左ノ如シ

人カ車	每一輛一哩	六錢	最低運賃	一圓二十錢
自動自轉車	同	五錢	同	一圓
商品運搬車	同	四錢	同	八十錢
自轉車、小兒車	同	三錢	同	六十錢

自動自轉車、自轉車ニシテ二人以上ノ座席ヲ有スルモノハ座席一箇ヲ増ス毎二前項運賃ノ五割増トス物品搭載用ノ附屬車アルモノ亦同シ

第六節 死體、遺骨運賃

第百七十二條 死體ヲ託送スル者ハ別ニ定ムル規定ニ依リ申込ヲ爲スモノトス其ノ運賃ハ左ノ如シ

學術研究、犯罪搜查又ハ裁判上ノ鑑定ニ供スル死體	每一箇一哩	二十五錢	最低運賃	五圓
-------------------------	-------	------	------	----

一 前號以外ノ死體 四十錢 同 八圓
 急行料金ヲ要スル急行列車又ハ急行汽船ヲ以テ死體ヲ運送スル場合ニ於テハ前項運賃ノ五割増トス
 第七十三條 遺骨ノ運賃ハ第六十四條ノ通常小荷物運賃ノ二倍トス

第七節 貴重品運賃

第七十四條 左ノ物品ハ之ヲ第一種貴重品トシ其ノ運賃ハ第六十四條ノ通常小荷物運賃ノ二倍トス
 一 金銀貨、貴稀金屬、赤銅、四分一
 二 寶玉石
 三 絹織物、絹絲
 四 絹織物又ハ絹絲ヲ材料トシタル各種ノ製作品
 五 鼈甲、珊瑚、象牙
 六 一角、犀角
 七 香料
 八 通常小荷物ニシテ皆掛重量一斤ノ價格二十圓ヲ超ユルモノ

第七十五條 左ノ物品ハ之ヲ第二種貴重品トシ其ノ運賃ハ第六十四條ノ通常小荷物運賃ノ三倍トス

- 一 兌換券、銀行券、小額紙幣、軍用手票
- 二 有價證券、金錢物件ニ係ル證書類、貴重ナル書類
- 三 貴稀金屬、赤銅又ハ四分一ヲ材料トシタル各種ノ製作品
- 四 寶玉石ヲ材料トシタル各種ノ製作品
- 五 書畫、骨董品、美術品

六 鼈甲、珊瑚又ハ象牙ヲ材料トシタル各種ノ製作品

七 精密ナル機械類

八 精巧ナル時計類

九 眼鏡類、鏡玉類

十 第六十五條ノ易損品又ハ第六十六條ノ嵩高品ニシテ皆掛重量一斤ノ價格二十圓ヲ超ユルモノ

第七十六條 前二條ノ規定ハ荷主ノ請求ニ依リ通常

小荷物ヲ貴重品トシテ取扱ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第七十七條 貴重品ノ増賃金ハ左ノ如シ

五十哩迄	價格百圓又ハ其ノ未滿每ニ	五錢
百哩迄	同	八錢
二百哩迄	同	十二錢
以上二百哩迄ヲ増ス每ニ	同	三錢

第七十八條 手荷物車ヲ貸切ト爲シ旅客列車ヲ以テ

兌換券、銀行券、小額紙幣、軍用手票ヲ運送スル場合ノ運賃ハ左ノ各號ニ依リ運送哩程ヲ貨率ノ異ナル哩程毎

ニ區分シ之ヲ各所定ノ貨率ニ乗シ合算シタルモノトス	每噸一哩	二十五錢
五十哩以下ノ哩程	同	十八錢
五十哩ヲ超ユル哩程	同	十五錢
百五十哩ヲ超ユル哩程	同	十二錢
三百哩ヲ超ユル哩程	同	十錢
五百哩ヲ超ユル哩程	同	同

前項ノ場合ニ於テ二十哩未滿ノ運送ニ付テハ二十哩分ノ運賃ヲ、積載荷物ノ重量カ貸切車ノ標記重量噸數ニ滿タサルトキハ其ノ標記重量噸數ニ依リ計算シタル運賃ヲ收受ス

前各項ノ場合ニ於テハ荷送人ハ荷物ノ積卸、保管及損害ヲ負擔シ且護送員ヲ同乗セシムヘキモノトス此場合護送員ハ三等乗車券ヲ購求スヘキモノトス

第八節 小動物運賃

第七十九條 小動物ノ運賃ハ左ノ如シ

- 一 鐵道省所定ノ犬箱ヲ以テ運送スル犬
 - 百 哩 迄 每一頭 一圓
 - 以上百哩迄ヲ増ス毎ニ 同 五十錢
- 二 前號以外ノ小動物
 - 百 哩 迄 每一頭 一圓
 - 以上百哩迄ヲ増ス毎ニ 同 五十錢

第六十四條ノ通常小荷物運賃ノ二倍

第八十條 鐵道運輸規程第八十一條ニ依ル獸類ノ

增賃金ハ左ノ如シ

五十 哩 迄	價格十圓又ハ其ノ未滿每ニ	五 錢
百 哩 迄	同	八 錢
二百 哩 迄	同	十二錢
以上二百哩迄ヲ増ス毎ニ	同	三 錢

第九節 牛乳其ノ他ノ食料品運賃

第八十一條 鐵道省指定ノ旅客列車ヲ以テ指定ノ區間ヲ運送スル牛乳、鮮肉、魚介類(鹽、干及燻シタルモノヲ除ク)、野菜、果物及鶏卵ノ運賃ハ左ノ如シ

三十 斤 迄	每一箇	三十錢
以上十斤迄ヲ増ス毎ニ	同	十 錢

前項ノ場合ニ於ケル空容器ハ無賃ニテ之ヲ返送ス

第四章 旅客附隨小荷物運送

第八十二條 旅客ハ左ノ物品ニ限リ旅客附隨小荷物トシテ之ヲ託送スルコトヲ得ルモノトス但シ第三號ノ物

品ニシテ託送總斤量カ百斤ヲ超ユルトキ及第三號又ハ第四號ノ物品ニシテ運送距離カ五十哩ヲ超ユル場合ハ此ノ限ニ在ラス

- 一 人力車、自動自轉車、自轉車、小兒車ニシテ旅客自用ノモノ、一人ニ付一輛
- 二 旅客ノ携帶スル犬及小動物
- 三 行商人、呼賣商人ノ携帶スル商品(貴重品ヲ除ク)
- 四 行商人、呼賣商人自用ノ商品運搬車一人ニ付一輛
- 五 旅客自用ノ樂器、寫眞機械類、經緯儀及水準器
- 六 度量衡器取締官吏ノ携帶スル度量衡檢査用具

旅客附隨小荷物ニハ住所、氏名及送先驛ヲ記載シタル強靱ナル荷札ヲ附スヘキモノトス

第八十三條 旅客附隨小荷物ハ旅客一人ニ付一回限リ之ヲ託送スルコトヲ得ルモノトス

第八十四條 旅客附隨小荷物ノ運賃ハ一箇毎ニ之ヲ計算ス

第八十五條 旅客自用自轉車ノ運賃ハ左ノ如シ

- 五十 哩ヲ超ユル哩程 每一輛一哩 四十錢
- 五十 哩ヲ超ユル哩程 每一輛一哩 三 錢

行商人、呼賣商人ノ携帶スル商品ノ運賃ハ左ノ如シ

哩程	斤量	二十斤迄	五十斤迄	百斤迄
二五哩迄	二十斤迄	二十錢	三十五錢	五十五錢
五十哩迄	三十斤迄	三十錢	五十錢	八十錢

第百八十六條 旅客附隨小荷物ノ運賃ハ前條ニ定ムルモノヲ除クノ外第百六十五條、第百六十六條、第百七十一條、第百七十四條、第百七十五條及第百七十九條ノ規定ニ依ル

貴重品及小動物ニ對スル増賃金ハ第百七十七條及第百八十條ノ規定ニ依ル

第百八十七條 第百五十一條、第百六十條及第百六十一條ノ規定ハ旅客附隨小荷物運送ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五章 手荷物及小荷物ノ配達

第百八十八條 手荷物ハ別ニ定ムル區域内ニ限り左ノ料金ヲ以テ之ヲ配達ス

普通配達

每一箇 十 錢

特別配達

東京、大阪市内ニ配達スヘキモノノ其ノ他ノモノ

同 三十 錢
同 二十 錢

前項ノ區域外ニ配達スル手荷物ノ配達料金ハ別ニ之ヲ定ム

第百八十九條 小荷物ハ別ニ定ムル區域内ニ限り之ヲ配達ス但シ左ニ該當スルモノハ此ノ限ニ在ラス

- 一 貨物引換證、船荷證券ヲ發行シタルモノ
- 二 水ニ入レタル活魚
- 三 新聞紙、雜誌
- 四 車輛類
- 五 死體、遺骨
- 六 貴重品
- 七 小動物
- 八 第百八十一條ノ食料品及空容器

前項ノ配達ハ無料ニテ之ヲ爲ス

第百九十條 配達ヲ爲スヘキ小荷物ニシテ急速配達ヲ要スルモノハ左ノ料金ヲ收受シテ其ノ取扱ヲ爲ス但シ荷物ノ長、幅及厚三尺(幅及厚一尺以内ノモノハ長六尺)、容積十立方尺ヲ超ユルモノハ此ノ限ニ在ラス

東京、大阪市内ニ配達スヘキモノ 每一箇 十五 錢
其ノ他ノモノ 同 十 錢

第百九十一條 旅客附隨小荷物ハ配達ノ取扱ヲ爲サス第六章 手荷物、小荷物及旅客附隨小荷物ノ保管

第百九十二條 手荷物ハ到着後二日間内ニ之ヲ引取ラサルトキハ該期間滿了後ノ日數ニ對シ一日毎ニ一箇ニ付十五錢ノ割合ヲ以テ保管料金ヲ收受ス

第百九十三條 配達ノ取扱ヲ爲ササル小荷物ハ到着ノ通知ヲ發シタル日ヨリ二日間内ニ之ヲ引取ラサルトキハ該期間滿了後ノ日數ニ對シ一日毎ニ左ノ保管料金ヲ收受ス

- 一 通常小荷物、新聞紙、雜誌、第百八十一條ノ食料品及空容器 每一箇 十 錢
- 二 易損品、嵩高品、貴重品、遺骨 同 二十 錢
- 三 小動物 同 三十 錢
- 四 車輛類 每一輛 三十 錢

第百九十四條 旅客附隨小荷物ハ到着後二日間内ニ之ヲ引取ラサルトキハ該期間滿了後ノ日數ニ對シ一日毎ニ左ノ保管料金ヲ收受ス

- 一 行商人、呼賣商人ノ携帶スル商品 每一箇 十 錢
- 二 易損品、嵩高品、貴重品 同 二十 錢
- 三 小動物 同 三十 錢
- 四 車輛類 每一輛 三十 錢

第九十五條 前三條ノ場合ニ於テハ到着ノ日又ハ到着ノ通知ヲ發シタル日及引渡ノ日ヲ時間ニ拘ラス各之ヲ一日トシテ計算ス

第七章 追徴及拂戻

第一節 品種相違、異種品混入及斤量超過

第九十六條 荷物受託後ニ於テ品種相違、異種品混入又ハ斤量超過ノ事實ヲ發見シタルトキハ左ノ各號ニ依リ計算シタル金額ヲ收受ス

- 一 品種相違ノ場合ニ於テハ相當運賃、保管料金ヨリ既收ノ運賃、保管料金ヲ控除シタル殘額ノ二倍
- 二 異種品混入ノ場合ニ於テハ第四百四十七條ニ依リ計算シタル相當運賃、保管料金ヨリ既收ノ運賃、保管料金ヲ控除シタル殘額ノ二倍
- 三 斤量超過ノ場合ニ於テハ現斤量相當ノ運賃ヨリ既收ノ運賃ヲ控除シタル殘額ノ二倍

第九十七條 特別運送ノ取扱ニ依ル新聞紙、雜誌ヲ受託後ニ於テ品種相違、異種品混入又ハ斤量超過ノ事實ヲ發見シタルトキハ左ノ各號ニ依リ計算シタル金額ヲ收受ス

- 一 品種相違ノ場合ニ於テハ相當運賃、保管料金ノ二倍
- 二 異種品混入ノ場合ニ於テハ第四百四十七條ニ依リ計算シタル相當運賃、保管料金ノ二倍
- 三 斤量超過ノ場合ニ於テハ其ノ全斤量ニ對スル

第九十八條 旅客ニ於テ上級乗換ノ取扱ヲ受ケタル無賃運送斤量相違

爲託送手荷物ノ無賃運送斤量ニ異動ヲ生シ既ニ支拂ヒタル手荷物運賃ノ過剩トナリタル場合ニ於テハ該過剩額ノ拂戻ヲ請求スルコトヲ得ルモノトス

第三節 運送見合、中止、返送及轉送

第九十九條 荷送人、貨物引換證ヲ發行シタルトキハ該證所持人(本章中以下荷送人トス)ノ請求ニ依リ小荷物ノ發送前ニ運送ヲ見合セ又ハ其ノ發送後ニ運送ヲ中止シタル場合ニ於ケル小荷物運賃ノ拂戻額ハ左ノ通トス

- 一 運送ヲ見合セタル場合ニ於テハ既收運賃ノ全額
- 二 運送ヲ中止シタル場合ニ於テハ既收ノ運賃ヨリ現運送區間ニ對スル相當運賃ヲ控除シタル殘額

第一百條 旅客ハ乗車券購求後旅行ヲ見合セ旅客運賃ノ拂戻ヲ請求スル場合ニ於テ既ニ託送シタル手荷物アルトキハ左ノ各號ニ依リ其ノ引渡ヲ受クヘキモノトス

- 一 發送前ナルトキハ當該驛ニ於テ引渡ヲ受クルコト此ノ場合ニ於テ有賃手荷物ニ對シテハ既收運賃全額ノ拂戻ヲ爲ス
- 二 發送後ナルトキハ運送區間ニ對シ無賃運送斤量又ハ斤量不明ノ場合ニ於テハ無賃運送最高斤量ニ相當スル第四百四十四條ノ通常小荷物運賃ヲ支拂ヒ手荷物ノ到着驛ニ於テ其ノ引渡ヲ受クルコト
- 三 發送後ニ於テ送還引渡ヲ希望スル者ハ前號ニ依ル運賃ノ外返送區間ニ對スル第四百四十四條ノ通常小荷物運賃ヲ支拂ヒ其ノ引渡ヲ受クルコト

第二百一一條 旅客ハ乗車券相當ノ座席ナキ爲旅行ヲ止メ旅客運賃ノ拂戻ヲ請求スル場合ニ於テ既ニ託送シタル手荷物アルトキハ左ノ各號ニ依リ其ノ引渡ヲ受クヘキモノトス

- 一 旅行ヲ止メタル驛ニ於テ引渡ヲ受クルコト
- 二 發送後ナルトキハ旅行ヲ止メタル驛迄手荷物ノ無貨送還ヲ受クルコト

三 旅客カ前號ノ無貨送還ヲ希望セサルトキハ旅行中止驛ト荷物到着驛間トノ哩程ニ對シ前條第二號ニ依リ計算シタル第百六十四條ノ通常小荷物運賃ヲ支拂ヒ手荷物ノ到着驛ニ於テ其ノ引渡ヲ受クルコト

第二百二條 前條ノ場合ニ於テハ旅客ハ有貨手荷物ニ對シ左ノ金額ノ拂戻ヲ請求スルコトヲ得ルモノトス

- 一 發驛ニ於テ手荷物ノ引渡ヲ受クルトキハ既ニ支拂ヒタル手荷物運賃ノ全額
- 二 途中驛ニ於テ手荷物ノ引渡ヲ受クルトキハ既ニ支拂ヒタル手荷物運賃ヨリ發驛ト旅行中止驛トノ間ノ手荷物運賃ヲ控除シタル殘額

第二百三條 前三條ノ規定ハ旅客附隨小荷物ニ之ヲ準用ス

第二百四條 荷送人ノ請求ニ依リ小荷物ノ返送又ハ轉送ヲ爲ス場合ニ於テハ更ニ相當ノ小荷物運賃ヲ收受ス

第四節 列車又ハ汽船運行不能及遲延

第二百五條 荷送人ハ列車又ハ汽船ノ運行不能トナリ又ハ遲延シタル場合ニ於テハ該荷物ノ運送中止又ハ無貨送還ヲ請求シ左ノ各號ニ依リ小荷物運賃ノ拂戻ヲ

ヲ得ルモノトス

受、不可抗力ニ因リ列車又ハ汽船ノ運行不能トナリ又ハ遲延シタル場合ニ於テハ既ニ支拂ヒタル小荷物運賃ヨリ運送シタル區間ノ小荷物運賃ヲ控除シタル殘額

二 不可抗力ニ因ラス列車又ハ汽船ノ運行不能トナリ又ハ遲延シタル場合ニ於テハ荷物ノ引渡ヲ發驛ニテ受クルトキハ既ニ支拂ヒタル小荷物運賃ノ全額、荷物ノ引渡ヲ途中驛ニテ受クルトキハ既ニ支拂ヒタル小荷物運賃ヨリ發驛ト引渡驛トノ間ノ小荷物運賃ヲ控除シタル殘額

第二百六條 前條ノ規定ハ旅客カ列車又ハ汽船ノ運行不能又ハ遲延ニ因リ旅行ヲ中止シタル場合ニ於ケル手荷物及旅客附隨小荷物ノ運送中止、送還及運賃拂戻ノ場合ニ之ヲ準用ス

第八章 旅客攜帶品一時預リ

第二百七條 鐵道省指定ノ驛ニ於テハ旅客攜帶品一時預リノ取扱ヲ爲ス但シ左ニ該當スルモノハ此ノ限ニ在ラス

- 一 驛ノ設備上保管ニ適セサル長尺物及容積重量大ナルモノ
- 二 火藥類、危險品
- 三 他ノ物品ヲ損スル虞アルモノ
- 四 臭氣ヲ發シ又ハ不潔ナルモノ
- 五 腐敗シ易キモノ
- 六 自用自轉車及小兒車以外ノ車輛類
- 七 貴重品
- 八 動物

九 其ノ他荷造不完全ニシテ保管ニ適セサルモノ
 第二百八條 旅客携帶品一時預リヲ爲シタルトキハ預ケ
 入ノ日ヨリ十日迄ハ一日毎ニ左ノ料金ヲ、第十一日以
 後ハ一日毎ニ左ノ料金ノ二倍ヲ收受ス
 自轉車、小兒車 每一輛 三十錢
 易損品、嵩高品、遺骨 每一箇 二十錢
 前各號以外ノモノ 同 十錢
 第二百九條 前條ノ場合ニ於テハ預ケ入ノ日及引渡ノ日
 ヲ時間ニ拘ラス各之ヲ一日トシテ計算ス
 第二百十條 一時預リヲ爲シタル物品ノ損害ニ付テハ鐵
 道省ノ故意又ハ重大ナル過失ニ因ル場合ヲ除クノ外最
 高五十圓迄ヲ限リ賠償ノ責ニ任ス

附則

本規則ハ大正十年一月十一日ヨリ之ヲ施行ス

大正九年十一月十七日印刷
大正九年十一月二十日發行

定價十錢

發行者 朝陽會長 池田敬八
東京市麹町區大手町三丁目
二番地印刷局內朝陽會
 印刷者 印刷局
東京市麹町區大手町三丁目
二番地印刷局內
 發行所 朝陽會
東京市麹町區大手町三丁目
二番地印刷局內
 販賣所 鐵道電氣通信社
東京市京橋區東區二丁目十
八番地
電話東京 二九七九番
振替東京 二九七九番

海陸運輸業。鐵道省御用。鐵道省貨物取扱業。
 船內夫人並川並請負委託販賣業。

鐵道省認運送取扱店 株式會社

（前 留 留 留）

鐵道木下組

東京市芝區芝口河三番地
 電話新橋 三三六番

支店

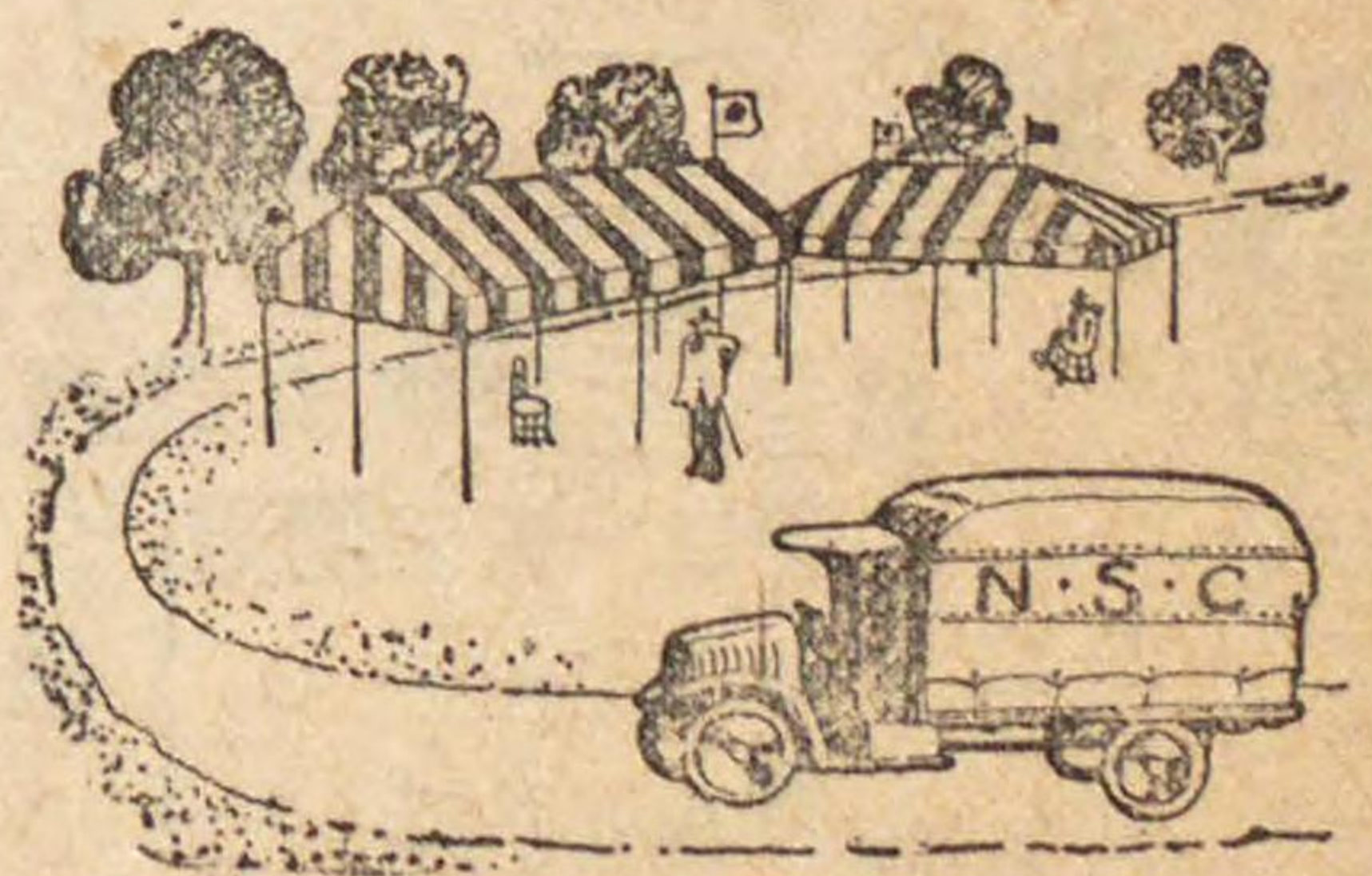
橫濱市北仲通四丁目六十番地
 電話本局 二三四八番
 東京府下山手線大崎驛前
 電話高輪 五八〇番
 東海道線鶴見驛前
 電話 三三六番

出張所
 東京市下谷區車坂町五十一番地
 電話下谷 三二四五番
 東海道線品川驛前
 名古屋鐵道局倉庫構內納品部

雨覆 天幕

型錄見本
無料進呈

製造販賣



鐵道鑛山 用雨衣防水布
郵便漁業

日本シート株式会社

本社

東京市神田區旅籠町一ノ二一
電話 四六二二〇二番
振替東京四六二一五番

工場

東京市外濧野川町南谷端
電話 板橋六六六番

衡器 試驗機

出張所

東京市日本橋區室町
貳丁目貳番地
電話本局 四七四五番



東京府王子町

佐藤製衡所

電話小石川 四五一番
一三三五番
電話王子 二四四番
二二七番

堅牢 廉價

支店

大阪市西區九條南通リ
貳丁目百六拾參番地
電話 西三七八四番

396
23

陸鐵 運道 通省 關公 汽認 船運 船送 船店

海陸運送ノ權威

東京銀座 (汐留驛)
株式會社

宇都宮回漕店
京橋區南金六町七番地

電話特長銀座 二二二二
二二二二
二二二二
九八七六

橫濱支店
同市相生町六丁目九九

電話本 二二四四〇〇
二二四四〇〇
二二四四三〇

神戸支店
同市元町通三丁目四五六

電話二宮 二二四一八
二二四一九
三九九九六

汐留驛新橋驛橫濱よは同名の運送店あり御混同無き様御注意下され度

日本運送株式會社

東京大阪其他主要都市
ニ支店出張所及全國各
驛ニ取引店ノ設ケアリ
御引立願上候

社本

前驛橋新京東

明治運送株式會社



396
23

禁電

10